

平成 2 4 年 度

**教育に関する事務の管理及び執行状況
の点検・評価に関する報告書
(平成 2 3 年度対象)**

平成 2 4 年 1 1 月

帯 広 市 教 育 委 員 会

目 次

1	点検及び評価の基本的な考え方	1
	（1）趣旨	1
	（2）対象	1
	（3）方法	1
	（4）学識経験者の知見の活用	1
2	点検及び評価の結果	3
	（1）次代を担う人づくり	3
	（2）ともに学びきずなを育む地域づくり	11
	（3）基本目標を実現するための基盤づくり	15
3	教育に関する学識経験者の意見	25
	参考資料	27
	平成23年度教育委員会の活動状況	28
	平成23年度教育行政執行方針	33
	平成23年度予算決算	39
	平成23年度における主な取組み一覧	41
	成果指標の推移	48

1 点検及び評価の基本的な考え方

(1) 趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、教育の取組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

(2) 対象

「帯広市教育基本計画」の体系にしたがい、平成23年度に実施した取組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

なお、「帯広市教育基本計画」においては、福祉や子育てなど他の分野と幅広く協力しながら取組みをすすめることとしていることから、教育委員会の取組みに加え、関係部課等の取組みについても、点検及び評価の対象としています。

(3) 方法

点検及び評価は、第六期帯広市総合計画の政策・施策評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画」の「個別目標」及び「基本方向」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や平成23年度における主な取組み内容などを踏まえながら、平成23年度における取組みの成果と、課題及び今後の方向性の2つの観点から、点検及び評価を行いました。

(4) 学識経験者の知見の活用

学識経験者からの点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取組みに向けた活用をはかります。

参考1 地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第3項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

図1 帯広市教育基本計画体系図

基本目標	個別目標	展開方策
1 次代を担う人づくり	1-1 知識・技能の習得	(1) 子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進 (2) 個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進 (3) 職業に関する教育・学習活動の推進 (4) 高度情報化に対応した教育・学習活動の推進
	1-2 豊かな心の育成	(1) 子どもの社会性の育成 (2) 豊かな情操の育成と生きがいづくり
	1-3 健やかな体づくり	(1) 健やかな体を育むスポーツ活動等の推進 (2) 食育の推進と学校給食の充実
	1-4 人間を尊重し自然と共生する人づくり	(1) 人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進 (2) グローバル化に対応した教育・学習活動の推進 (3) 環境に関する教育・学習活動の推進
2 とともに学びきずなを育む地域づくり	2-1 ふるさとの理解の促進	(1) 子どものふるさと教育の推進 (2) 地域に関する学習活動の推進
	2-2 きずなづくり・まちづくり	(1) まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進 (2) にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興

	基本方向	展開方策
基本目標を実現するための基盤づくり	1 学校・家庭・地域の連携	(1) 開かれた学校づくり (2) 家庭教育への支援 (3) 家庭や地域による教育支援の推進
	2 教育を支える人材の育成	(1) 教員の人間力・指導力の向上 (2) 地域の人材の発掘・育成・活用
	3 教育環境の充実	(1) 学校教育の環境整備 (2) 社会教育の環境整備 (3) 保育・体験活動の環境整備
	4 教育機会の確保	(1) 就学・進学への支援 (2) 健やかな発達の支援
	5 よりよい教育のためのしくみづくり	(1) 魅力ある学校づくりの推進 (2) 学校教育のしくみの工夫改善 (3) 社会教育施設の利用の促進 (4) 地域の実情に応じた教育行政の推進

2 点検及び評価の結果

(1) 次代を担う人づくり

個別目標1-1	知識・技能の習得
市民が生涯にわたり自己を高めるとともに、時代の変化に適応し、自立して生きることができるよう、必要な知識・技能を習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、子どもたちの学力向上に向けて、全市的な目的意識の共有のもと、各学校の児童生徒の実態に応じた改善プランに基づく指導方法の工夫改善などの取組みをすすめ、標準学力検査の目標基準到達観点数は目標値を下回りましたが、昨年度より2観点増加したほか、全国学力学習状況調査を活用した北海道における学力調査の結果は、全道の平均正答率を上回りました。</p> <p>(2)「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、講座内容の見直しや開催時間の工夫、情報発信の強化などにより、コミュニティ講座をはじめとする講座等の参加者数が増加し、目標値を上回りました。</p> <p>(3)「職業に関する教育・学習活動の推進」については、帯広南商業高校において、1年次からの進路指導や高度な職業資格の取得に向けた指導を行い、就職率が目標値を達成したほか、検定3種目以上1級取得率が目標値を上回りました。</p> <p>(4)「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、児童生徒の情報活用能力や情報モラルなどの育成をはかったほか、携帯電話やインターネットでの有害情報や非行問題に対応するため、青少年や保護者に対する啓発活動を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進」については、基礎基本の定着や学習習慣の改善が課題となっていることから、授業における指導方法の工夫改善や家庭と連携した取組みを引き続きすすめる必要があります。</p> <p>(2)「個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進」については、市民の様々な学びのニーズに応えるため、魅力ある講座づくりに努めるとともに、さらに積極的な情報発信を行っていく必要があります。</p> <p>(3)「職業に関する教育・学習活動の推進」については、南商業高校において、地域の企業が求めるニーズを捉えながら、社会に貢献する豊かな教養人を育ていく必要があります。</p> <p>(4)「高度情報化に対応した教育・学習活動の推進」については、学校における情報活用能力や情報モラルの育成のほか、関係機関と連携した有害情報排除などの啓発活動に引き続き取り組んでいく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
標準学力検査の目標基準到達観点数（観点）	26	28 31	42
帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数（人）	22,590	30,138 23,000	23,000
帯広南商業高等学校の就職率（%）	100.0	100.0 100.0	100.0
帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率（%）	46.7	65.3 51.0	75.0

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 新しい学習指導要領への対応

学習指導要領が改訂され、小学校は平成23年度、中学校は平成24年度から全面実施されました。学習指導要領とは、全国のどの地域で教育を受けても、一定の水準の教育を受けられるようにするため、各学校で教育課程を編成する際の基準となるものです。新しい学習指導要領では、子どもたちの「生きる力」を育むため、基礎的・基本的な知識や技能の習得とともに、思考力、判断力、表現力の育成を重視しています。教育委員会では、新しい学習指導要領に対応する教育課程の改善や教材・教具の整備、教職員に対する研修などを行いました。



国際理解教育指導助手との
外国語活動の授業

◆ コミュニティ講座

市内26の小学校区にある生涯学習推進委員会との共催で、地域の多種多様な学習に対するニーズに応じて、子どもから高齢者までを対象とした学習活動や交流の機会を提供しています。各地区では、帯広・十勝の歴史や自然について理解を深めるバス学習やレクリエーションを通じた子どもと高齢者の異世代交流、学校と連携したお祭りや音楽鑑賞会などを実施し、平成23年度は、223講座に17,720人の参加がありました。



子ども110番の家スタンプラリー
(西小学校地区)

個別目標1-2	豊かな心の育成
<p>子どもたちが、他の人々と協調しながら、自らを律し、社会においてよりよく生きる力を身につけるとともに、市民が生涯にわたりゆとりやうるおいを実感して生活することができるよう、豊かな心の育成に取り組みます。</p>	

○ 点検及び評価の結果

項目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「子どもの社会性の育成」については、不登校生徒への対応として、生徒指導アドバイザーの活用や関係機関と連携した相談・支援体制を強化したことにより、不登校生徒の復帰率は目標値に及ばないものの、前年度を上回る成果をあげました。また、子どもの居場所づくり事業では、地域ボランティアやNPO法人の協力を得ながら、放課後等に自由遊びを中心に読み聞かせや工作、調理など多様な体験活動を提供し、平成23年度は、新たに実施する学校が2校増え（市内26校中17校での実施）、道内でも高い実施率となっています。</p> <p>(2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、学校図書館の計画的な蔵書の整備や、全校で実施している朝読書、学校図書館ボランティアの活用などにより、小・中学校図書館の貸出冊数が目標値を上回りました。また、市図書館では、学校と連携した取組みなどにより、児童図書の出冊数が1万冊(4%)増加しました。さらに、市民主体の芸術・文化活動の促進をはかるため、おびひろ市民芸術祭や市民オペラ「トゥーランドット」公演などを開催したほか、「小中学生のための札幌コンサート」や「ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 with 中村絃子&千住真理子」などの公演を行い、良質な芸術・文化にふれる鑑賞機会を市民に提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どもの社会性の育成」については、いじめや不登校等に対する生徒指導アドバイザーへの相談件数が増加傾向にあり、未然防止や複雑化する要因に対応するため、相談・支援体制の一層の充実をはかるとともに、今後も保護者や関係機関と連携しながら、生徒の実態に応じた相談・支援活動をすすめる必要があります。また、子どもの居場所づくり参加児童数は、学習指導要領の改訂にともない、高学年が参加できる回数が大幅に減るなど、目標値を下回ったことから、今後は、全小学校での実施に向けて、学校やボランティア団体等との連携を深めるとともに、地域住民の協力・参加を得て活動スタッフの充実をはかっていく必要があります。</p> <p>(2)「豊かな情操の育成と生きがいづくり」については、子どもたちが読書に親しむ機会を拡大するため、学校図書館の蔵書の整備やレファレンス機能の充実をすすめるとともに、学校図書館ボランティアの活用や市図書館との連携に引き続き取り組んでいく必要があります。また、鑑賞事業の入場者数は、文化団体等の小規模化や活動の停滞などにより目標値を大きく下回ったことから、文化団体等の支援やおびひろ市民芸術祭などの開催方法等の見直しなど、活動機会を充実させていく必要があります。さらに、インターネットやマスメディアなど、様々な通信媒体を活用して、出演者の意気込みや入場者の感想等を交えた情報を発信していく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
不登校生徒の復帰率 (%)	30.8	41.4	65.0
		45.0	
子どもの居場所づくり参加児童数 (人)	7,575	17,629	31,100
		18,400	
小学校図書館の児童1人当たり貸出冊数 (冊)	9.1	12.0	11.8
		9.6	
中学校図書館の生徒1人当たり貸出冊数 (冊)	1.6	3.6	2.4
		1.7	
鑑賞事業の入場者数 (人)	34,098	18,317	38,000
		38,000	

※貸出冊数は年間の冊数

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 子どもの居場所づくり

放課後や週休日などに、地域のボランティアやNPO法人が中心となり、小学校の特別教室などで異世代や異学年との交流、自由遊び、工作、調理などの活動を実施し、子どもたちが安心して過ごせる居場所を提供しています。平成23年度は、新たに実施する小学校が2校増え、17校での実施となり、延べ17,629名の児童が参加しました。今後は、学校や地域ボランティアと連携しながら、全小学校での実施を目指していきます。



栄っ子ふれあい広場(栄小)

◆ 市民オペラ「トゥーランドット」

教育委員会では、市民の主体的な芸術・文化活動を支援しています。総合舞台芸術である市民手作りのオペラ公演は、平成9年度の「カルメン」、平成14年度の「魔笛」、平成18年度の「椿姫」に続き、平成23年度は「トゥーランドット」を開催しました。地元のソリストや合唱団、帯広交響楽団、稲田小学校合唱部、バレエ、助演など、世代を越えて結集した関係者が、心を一つにして気持ちのこもった舞台を作り上げました。12月16日、18日の公演には、2,000人を超える観客が訪れました。



「トゥーランドット」のフィナーレ

個別目標1-3	健やかな体づくり
市民が生涯にわたり心身ともに健やかな生活を送ることができるよう、健やかな体づくりに取り組みます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、帯広市体力・運動能力実態調査の結果を受けて、各学校が児童生徒の実態を踏まえた体育・健康に関する指導の充実や体力向上の取組みを実施してきたことにより、昨年度と比較して多くの種目で全道の結果を上回りました。また、各種スポーツ大会・教室が頻りに行われたほか、各地域でのスポーツ推進委員によるスポーツ振興事業の推進や総合型地域スポーツクラブのスポーツフェスティバルへの参画などにより、スポーツ大会・スポーツ教室・講習会の参加者数は、目標値を下回ったものの、前年度を上回りました。</p> <p>(2)「食育の推進と学校給食の充実」については、食育検討委員会において、帯広市PTA連合会との共催により、教職員、保護者向けの講演会を実施するとともに、児童生徒、保護者向けの啓発リーフレットや食育レシピ集を作成したほか、学校栄養職員による学校訪問や教科指導、給食だよりを活用した情報提供を行いました。学校給食における地場産野菜の導入率は、地元仕入先の拡大や天候に恵まれたこともあり、目標値を下回ったものの、前年度を上回りました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「健やかな体を育むスポーツ活動等の推進」については、児童生徒の体力向上をはかるため、帯広市体力・運動能力実態調査を今後も継続して実施し、調査結果を各学校における取組みに反映させていくほか、子どもの生活習慣・運動習慣の改善に向けて、家庭や地域と連携した取組みをすすめる必要があります。また、スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数は目標値を下回りました。特に、明治北海道十勝オーバルの学校授業利用などが目標を大きく下回っていることから、市民が気軽にスケートにふれる機会の提供や他の競技を含めた施設全体の利用促進の取組みについて検討していく必要があります。さらに、身近な場所で気軽にスポーツができる環境づくりのため、スポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブによる地域スポーツ活動を引き続き支援していくとともに、スポーツ教室・講習会の市民への情報提供を充実させるほか、総合型地域スポーツクラブの設立支援をすすめていく必要があります。</p> <p>(2)「食育の推進と学校給食の充実」については、学校給食への地場産野菜の安定供給が課題となっていることから、地場産野菜の導入拡大に向け、関係団体等との連携を引き続きすすめる必要があります。また、児童生徒が食に関する正しい知識や食習慣を身に付けるため、学校における指導の充実をはかるとともに、家庭や地域と連携した取組みを促進させる必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数（人）	35,677	73,561	87,000
		87,000	
総合型地域スポーツクラブの設置数（か所）	2	3	8
		3	
学校給食における地場産野菜の導入率（％）	55.7	63.3	70.0
		67.1	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 子どもの体力向上の取組み

教育委員会では、子どもたちの体力・運動能力の実態を把握し、今後の指導の参考とするため、平成22年度から小学5年生と中学2年生を対象とした「帯広市体力・運動能力調査」を実施しています。平成23年度の結果から、昨年度と比較して全道の結果を上回る種目が多くなるなど、改善の傾向が見られました。また、子どもたちの体力・運動能力は、食生活や生活習慣との関わりが深いことから、保護者向けに食習慣に関するリーフレットを配布するなど、啓発活動にも取り組みました。



帯広市体力・運動能力実態調査

◆ スポーツフェスティバル

市民がスポーツを楽しむきっかけづくりを目的として、毎年体育の日に、帯広の森運動施設を中心に開催しているスポーツイベントです。市民マラソンやサイクリング、ミニバレー大会などを開催したほか、平成23年度からはスポーツ推進委員や総合型地域スポーツクラブの参加により、身近な地域でスポーツ教室や体験会などを開催し、合計で2,844人の参加がありました。イベント終了後は、市内体育施設の無料開放を行い、多くの市民に利用されました。



帯広の森陸上競技場で行われた市民マラソン

個別目標1-4	人間を尊重し自然と共生する人づくり
誰もが人間として尊重され、共生することができる社会づくりや、人と自然が共生する持続可能な社会づくりに資するため、市民が必要な知識などを習得することができる教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」については、UD（ユニバーサルデザイン）に関する講座等への参加者数が、外部講師の活用のほか、団体や企業を対象とした講座の開催など、実施手法の工夫や受講対象の拡大に努めたことにより、目標値を上回りました。また、講演会や講座、情報誌の発行を通じて人権、福祉、男女共同参画の啓発に取り組みました。</p> <p>(2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、学習指導要領の改訂を踏まえて、国際理解教育指導助手や外国語指導助手等を活用した指導を充実させ、児童生徒の諸外国の言語・文化等への理解やコミュニケーション能力の育成をはかりました。また、国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数は、対象者を意識した情報提供などにより、「森のハロウィーン」や「キッズ・プレイグラウンド」など、特に親子で参加できる事業の参加者が大幅に増えており、目標値を上回りました。</p> <p>(3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、活力ある学校づくり支援事業において、校区内の自然環境を活用した体験活動を行うなど、各学校の特色を生かした取組みを行いました。また、百年記念館では、学芸員による学校での出前講座や学校ピオトープの支援などを行ったほか、動物園では、飼育体験事業や小中学生の職場体験などを通して、動物や自然環境についての知識や理解を深める学習活動を推進しました。環境にやさしい活動に取り組む学校数は、前年度より3校増え、目標値を達成しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進」については、子どもから高齢者まで、幅広い市民への意識啓発をすすめるため、講演会や講座の開催、情報誌の発行などの取組みを引き続きすすめていく必要があります。</p> <p>(2)「グローバル化に対応した教育・学習活動の推進」については、新学習指導要領により、平成23年度から小学校における外国語活動が導入されたことから、小・中学校を通じた外国語教育の充実をはかっていく必要があります。また、国際理解推進事業・国際交流事業では、異なる文化や価値観への理解を促進するため、諸外国の様々な生活、文化などを知る機会を引き続き提供していく必要があります。</p> <p>(3)「環境に関する教育・学習活動の推進」については、帯広らしい環境教育を推進するため、社会教育施設などが連携したプログラムを充実させていくとともに、体験学習等の受入体制を強化していく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
UDに関する講座等への参加者数（人）	234 (H17-19平均)	321 234	370
国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数（人）	8,465 (H17-19平均)	8,968 8,670	9,350
環境にやさしい活動実践校数（校）	10	20 20	41

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 国際理解・国際交流の推進

帯広市では、国際性を備えたまちづくりをめざし、市民の国際理解を深める機会を提供するとともに、国際姉妹・友好都市との市民の相互交流を行っています。森の交流館・十勝では、外国の歌や絵本を通じて外国の文化にふれる「キッズ・プレイグラウンド」や帯広畜産大学の留学生などが自国の文化を紹介する「インターナショナル・トーク」などを開催しました。また、米国・マディソン市との国際姉妹都市締結5周年事業として、16名の訪問団を派遣したほか、高校生・成人相互派遣事業では、米国・スワード市へ4名を派遣しました。



森の交流館・十勝での
インターナショナル・トーク

◆ おびひろ動物園の取組み

おびひろ動物園では、動物のすばらしさや不思議さ、面白さを実感し、動物の生息環境やそこで生じる問題、人間と動物が共生していく社会について理解を深めてもらうための学習機会を提供しています。小学生から大人までを対象とした「1日飼育係」では、飼育係として実際に動物たちの世話などをしたほか、「おやこ de Zoo」では、親子で動物の飼育方法や心構えなどを学習しました。また、普段見ることのできない動物の生態を観察する「夜の裏側探検隊」や「冬の裏側探検隊」などを開催するとともに、動物との接し方などを学習できる出前授業用の絵本「ピーちゃんからのメッセージ」を300冊作成しました。



小学生の1日飼育係

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

個別目標2-1	ふるさとの理解の促進
市民がふるさとの風土に学び、自己を確立するとともに、ふるさとの誇りや愛着などを高めることができるよう、ふるさとの理解や再発見を促進する教育・学習活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「子どものふるさと教育の推進」については、児童生徒のふるさとに対する理解や関心を高めるため、「郷土体験学習」「自然体験学習」を全小中学校で引き続き実施するとともに、百年記念館において、郷土体験学習での常設展示室の解説受入れをするなど、学校と社会教育施設等の連携をすすめました。また、アイヌ民族の歴史や文化などについて理解を深めるため、アイヌ民族の理解促進指導用教材資料を作成し、学校での活用をはかるとともに、教員向けの研修講座を開催しました。</p> <p>(2)「地域に関する学習活動の推進」については、実施内容や周知方法の見直しにより、地域について学ぶ講座等への参加者数が大幅に増加し、目標値を上回りました。また、帯広市民大学講座では、高等教育機関や試験研究機関などとの連携や市民との協働をはかりながら、ふるさとへの理解やまちづくり活動に関する知識や技能の習得をテーマに講座を開催しました。さらに、百年記念館では、地域の歴史や自然を学習する博物館講座や帯広にゆかりのある画家の作品を展示した収蔵作品展などを開催したほか、図書館では、文学ゆかりの地をフィールドワークとした「ふるさと再訪」や「親子でチャレンジ！帯広開拓の歴史を探ろう！」を開催するなど、ふるさとに対する理解と関心を深める多様なプログラムを提供しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「子どものふるさと教育の推進」については、「郷土体験学習」「自然体験学習」をさらに充実させるため、外部講師の積極的な活用や社会教育施設等との連携を強化していく必要があります。また、子どもたちがふるさとについてより理解を深められるよう、副読本をはじめとした教材の充実や社会教育施設等における展示物や資料、プログラム等の充実をはかっていく必要があります。</p> <p>(2)「地域に関する学習活動の推進」については、より多くの市民にふるさとやまちづくりに関する講座に参加してもらうため、参加者の興味やニーズを踏まえた講座内容等の充実にも努めるとともに、ホームページなどを活用した情報発信により、講座の魅力を伝えていく工夫をしていく必要があります。また、市内の文化財や史跡標示板の整備をすすめ、市民や観光客が帯広の歴史や文化を学習できるようなしくみづくりを行っていく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
地域について学ぶ講座等への参加者数（人）	4,053	5,382	4,000
		4,000	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 社会科副読本の作成

小学3、4年生の社会科の授業では、副読本「おびひろ」を使用し、ふるさと帯広の歴史や産業、まちづくりなどについて学習しています。平成22年度に、新しい学習指導要領に対応した教科書を踏まえて、全面改訂を行うとともに、平成23年度は、全単元を再度見直し、写真や資料の更新など、児童にとってより活用しやすいように部分改訂を行いました。また、副読本をより効果的に活用するため、様々な資料を活用した教師用副読本の発行や、学習内容をより深めるためのDVD教材の作成を行いました。



小学校社会科副読本「おびひろ」

◆ アイヌ民族・文化の理解促進

平成18年に帯広百年記念館内にオープンしたアイヌ民族文化情報センター「リウカ」では、アイヌ民族の文化や歴史などについて情報を集積するとともに、アイヌ文化と関連させた自然観察会やワークショップなど、独自の事業を実施し、市民の文化活動や学校の学習活動、アイヌ文化伝承普及活動などに活用されています。平成23年1月にリニューアルオープンしたことにより、平成23年度は、前年度比3.7倍の18,000人を超える利用があり、多くの市民にアイヌ文化にふれる機会を提供しました。



シカ笛作りワークショップ

個別目標2-2	きずなづくり・まちづくり
地域におけるきずなづくりや、市民主体のまちづくりに資するため、まちづくりへの市民参画やまちのにぎわい・交流を促進する学習・文化・スポーツ活動をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、青少年リーダー養成事業参加者数が、プログラムの工夫や小学校への積極的な協力依頼などにより、目標値を上回りました。また、生涯学習コーディネーター養成課程の修了者で構成する「生街楽集の学舎」と協力し、まちづくりのための学習メニュー「おびひろ地元学」や地域について学ぶ講座「帯広の森を楽しむ」などを実施しました。さらに、ボランティア養成講座の充実をはかるとともに、学習成果を生かせる環境づくりに努めた結果、学校や社会教育施設でボランティア活動が実践され、学習成果の活用事例数が目標値を上回りました。</p> <p>(2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、おびひろ市民芸術祭や市民オペラ「トゥーランドット」公演などを開催し、市民が主体的に参加できる芸術・文化活動を通じて、発表者同士や鑑賞者との交流機会を提供しました。また、日本クラブユースサッカー選手権大会やスピードスケートの国際大会が開催されたほか、これまでの誘致活動により、各種スポーツの全国・全道大会の開催数が前年より増加しました。スポーツ合宿団体数は、明治北海道十勝オーバルのナショナルトレーニングセンター指定に伴うスケート合宿を中心に順調に増加していることから、目標値を上回りました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進」については、中・高校生のリーダー養成事業への参加や他地域ジュニアリーダーとの交流事業を促進するとともに、若者のまちづくりへの参画をすすめるしくみづくりを行っていく必要があります。また、まちづくりを担うボランティアの育成や研修に引き続き取り組むとともに、学習成果の活用機会を充実させていく必要があります。</p> <p>(2)「にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興」については、おびひろ市民芸術祭の開催期間を短縮したことなどにより、発表・活動の場への参加団体数が目標値を下回ったことから、企画段階から教育委員会が積極的に関与し、小規模な団体等の育成等を通じて参加団体を増加させていく必要があります。また、ホームページなどを通して指導者や文化団体等の活動に関する情報提供を充実させるなど、市民が芸術・文化活動に気軽に参加できる環境づくりをすすめていく必要があります。各種スポーツの全国・全道大会開催数は増加していますが、観客数が目標値を下回ったことから、各種スポーツの魅力を伝える情報提供の充実など、会場へ足を運んでもらうための工夫を行っていく必要があります。さらに、関係団体等と連携をとりながら、スポーツ大会や合宿の誘致に引き続き取り組み、市民へのスポーツ観戦機会や一流選手とのふれあいの場を提供していく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
青少年リーダー養成事業参加者数（人）	208	291 220	260
学習成果の活用事例数（件）	1 (H20)	5 2	10
発表・活動の場への参加団体数（団体）	56	50 57	65
各種スポーツ大会の観客数（万人）	16.0	20.5 20.8	20.8
スポーツ合宿団体数（団体）	150 (H20)	215 200	200

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 市図書館での「初歩から始める郷土資料の読み解き講座」

市図書館には、先人たちが書き残した郷土史の資料が数多く収蔵されており、帯広市の歴史研究や市史の編集、発行などに活用するため、専門的知識を有する方々によって、判読、版字、版刻されてきました。このほかにも、郷土の研究家、有志によって書き残された身近な地域に関する資料が数多く保存されており、郷土の歴史に関心のある市民と一緒に読み解き、誰にでも読むことができる資料を作成することを目的に「初歩から始める郷土資料の読み解き講座」を平成23年度から開催しています。



初歩からはじめる郷土資料の読み解き講座

◆ 日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会

日本クラブユースサッカー選手権(U-15)大会は、日本の将来を担うユース年代選手のサッカー技術の向上と健全な心身の育成をはかるとともに、クラブチームの普及と発展を目的に開催されています。全国9地区の代表48チーム、選手1,304人が帯広の森球技場などで熱戦を繰り広げ、多くの市民が将来のJリーガーのプレーを堪能しました。福島県Jビレッジの代替開催地として、帯広市では、平成23年度から平成25年度までの開催が決定されています。



帯広の森陸上競技場での試合

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

基本方向1	学校・家庭・地域の連携
学校・家庭・地域がそれぞれの役割を果たし、相互に協力しながら、社会を挙げて教育を充実することができるよう、学校・家庭・地域の連携をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内容
取組みの成果	<p>(1)「開かれた学校づくり」については、地域の意見を学校運営に反映させるため、学校評議員を全校で委嘱しているほか、公開研究会等を通じた保護者や地域住民などへの授業の公開、学校ホームページの充実など、各学校においてきめ細かな情報提供に努めました。</p> <p>(2)「家庭教育への支援」については、地域子育て支援センターなどで、子どもの成長段階に応じた子育てに関する学習機会を提供したほか、相談・支援事業とあわせて子育て家庭の交流の促進をはかったことなどから、子育て支援センター等の利用回数が目標値を上回りました。また、子育てガイドブックや子育てメール通信などを通じて、生活習慣など子どもへの対応について家庭への啓発を引き続きすすめたほか、4ヶ月児健診時の「絵本との出会い事業」や図書館において親子で読書に親しむ「胎児期からのブックスタート」、子どもと本の写真を募集・展示する「えほん記念日」などの事業を行い、読書を通じて親子がふれあう機会の充実をはかりました。</p> <p>(3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、学校支援ボランティアの活動報告会などの実施により、地域全体で学校を支える取組みの重要性について理解がすすみ、地域住民やPTA等で構成する学校支援地域本部事業への参加校が増加し、学校支援ボランティアを活用した学校数は、目標値を達成しました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「開かれた学校づくり」については、家庭や地域と連携した教育活動や学校運営の改善をはかるため、各学校において各種の通信やホームページ、公開研究会などを通じた情報発信を充実させていくとともに、学校評議員制度のさらなる活用に取り組む必要があります。</p> <p>(2)「家庭教育への支援」については、インターネットの普及などにより、子育てメール通信の利用率が目標値を下回ったことから、子育てメール通信が魅力ある身近な情報発信ツールとして活用されるよう、講座やイベント等の案内をタイムリーに提供するなど、情報内容の充実をはかり、登録者数を増やしていく必要があります。また、子育て応援ボランティアや子育て応援事業所などとの連携により、地域で子育てを支えるしくみを充実させていく必要があります。</p> <p>(3)「家庭や地域による教育支援の推進」については、ボランティア・コーディネーターの育成や団体間のネットワークづくりが課題となっていることから、人材の確保・育成に引き続き取り組んでいくとともに、地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業の取組みを拡充していく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数(回)	102	12.6	12.0
		10.8	
子育てメール通信の利用率(%)	238 (H20)	29.5	60.0
		33.6	
学校支援ボランティアを活用した学校数(校)	2	29	40
		16	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 子育て応援事業所(子育て応援パスポート事業)

次代を担う子どもたちの健やかな育成を支援する事業所を「子育て応援事業所」として登録しています。登録している事業所は、帯広市などが主催する子育て応援の事業への共催、協賛、後援や無料の託児サービス、商品の割引販売、子育て支援の備品の配置、子ども110番の家としての活動など、従業員や市民向けの子育て支援策に取り組んでいます。平成23年度は、登録事業所が昨年度から32件増加し、162事業所が登録しています。



子育て応援事業所のシンボルマーク

◆ 学校支援ボランティアの活動

地域全体で子どもたちを育てていくことが求められている中、各地区では、ボランティアの方々により学校の環境整備や学習の支援、学校行事の協力などが行われています。市内全小中学校の通学路などでは、子どもたちが交通事故や犯罪に巻き込まれないよう、登下校時の見守り活動が実施されているほか、学校図書館の整備や読み聞かせ、放課後や長期休業中の学習会の開催など、学校支援ボランティアの活動が広がりを見せています。



見守り活動中のボランティアの方々

基本方向2	教育を支える人材の育成
専門性や豊かな人間性などを備えた、教育を支える人材を確保するため、教員や地域の指導者などの育成に取り組みます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、学習指導要領の改訂による教員の研修意欲の向上や、学校のニーズに対応した研修機会を提供したことなどから、教職員 1 人あたりの研修受講回数が目標値を上回りました。また、学校においてミドルリーダーとなり得る、豊かな人間性をもった教師を養成するため、教員リーダー養成「21世紀教師塾」を引き続き開催したほか、学校指導訪問による指導・助言などを行いました。</p> <p>(2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、地域での学習情報を収集し、情報誌を発行するとともに、指導者や団体・サークルなどの生涯学習の推進に関わる情報をホームページを通じて提供しました。また、芸術・文化活動を支える人材の育成をはかるため、全国・全道の大会に出場する青少年に対する支援や、文化賞・文化奨励賞で優秀な活動に対して表彰を行うとともに、「新人演奏会」や「ふるさと公演」を開催し、今後の活躍が期待される個人や団体に発表機会を提供しました。さらに、スピードスケート競技の振興を目的とする「ほっとドリームプロジェクト」では、高校生以下のスピードスケートの選手育成を目的としたスケートキングダムや指導者向けの講習会を開催するなど、人材の育成に取り組みました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「教員の人間力・指導力の向上」については、教師自らの専門的な力量の向上に加え、幅広い視野を持った豊かな人間性が求められていることから、関係機関等と連携して研修内容、研修機会の充実をはかるとともに、教員の研修受講を促進していく必要があります。また、各学校における校内研修体制の充実や教員ミドルリーダーの育成に引き続き取り組むとともに、個人の研究活動等への支援を充実させ、研究成果を全教職員に還元する取組みをすすめていく必要があります。</p> <p>(2)「地域の人材の発掘・育成・活用」については、指導者登録制度の市民への周知が不足し、地域の指導者の登録者数が目標値を下回ったことから、登録の動機づけとなる活躍機会の提供のため、地域の指導者を教育委員会主催の講座等に登用するなど、活躍の場を設けるとともに、ホームページなどを活用し、積極的な情報発信を行っていく必要があります。また、市のホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数は、ホームページを自ら制作している団体が増加していることもあり、目標値を下回ったため、文化団体にとってより利用しやすいホームページとなるよう、公開する情報内容の充実や市民への周知を行っていく必要があります。さらに、スピードスケートのサポーターバンク（指導者登録制度）への登録者数が伸びていないことから、指導者養成の講習会・研修会を充実させていくとともに、初心者を対象とした底辺拡大事業や競技者育成事業をさらに充実させ、スピードスケート普及体制の構築をはかっていく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
教職員1人当たりの研修受講回数(回)	2.2	2.5	3.0
		2.3	
地域の指導者の登録者数(人)	138	109	190
		150	
ホームページで芸術・文化活動を紹介する文化団体数(団体)	260	259	272
		264	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 教育研究実践表彰

教育委員会では、学校教育の各分野において、調和のある研究・実践活動により優れた成果をあげている学校等や、学校教育の指導、研修を意欲的、創造的に行い、その活動の実績が顕著な教職員を毎年表彰しています。平成23年度は、外部講師を活用した校内研究の充実や公開研究会を通して質の高い授業構築などの教育実践に取り組んだ豊成小学校のほか、「音楽科教育の推進」「巡回指導教員活用事業を通じた学力向上の取組」を研究実践テーマとした2名の教員を表彰しました。



教育研究実践表彰(豊成小)

◆ 芸術・文化を支える人材の育成

教育委員会では、芸術・文化活動を支える人材の育成をはかるため、国内外で活躍している帯広・十勝出身の芸術家に、帯広での舞台公演や展示発表をする機会を提供しています。平成23年度は、神奈川県在住の石岡幸恵さんのソプラノコンサート、第6回ふるさと公演「石岡幸恵と仲間たち～音楽のおくりもの～」を開催し、約300名の観客が鑑賞しました。また、公演に合わせ、緑丘小学校において出前講座を行い、子どもたちは、プロの演奏家との交流を楽しみました。



緑丘小学校での出前講座

基本方向3	教育環境の充実
市民が生き生きと学ぶことができるよう、安全・安心で利用しやすく、環境負荷の低減にも配慮した教育環境の整備をすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「学校教育の環境整備」については、小中学校の耐震化工事を4校で実施し、校舎の耐震化率が、目標値を上回る81.3%となりました。屋内体育館を含めた学校施設全体の耐震化率は87.0%となり、全国平均(84.8%)を上回りました。また、新たな学校給食調理場基本計画を策定し、施設・設備の基本的な内容や食育、地産地消の取組みを示しました。</p> <p>(2)「社会教育の環境整備」については、図書館において、食文化やビジネス支援、子育て支援などに関する図書資料の整備をすすめるなど、市民ニーズに応じた蔵書の充実に努めた結果、市民1人あたりの図書等の貸出点数が、目標値を上回りました。また、とかちプラザ情報センターの改修や市民文化ホールの舞台設備機器等の更新などを行ったほか、百年記念館では、常設展示室「十勝農業の確立」コーナーを一部更新しました。</p> <p>(3)「保育・体験活動の環境整備」については、稲田下川西地区の児童数の増加などに対応するため、豊成保育所及び豊成児童保育センターの移転改築工事を行ったほか、公立保育所6か所の耐震診断を実施し、うち5か所で耐震補強実施設計を行いました。児童会館においては、行事内容の工夫などにより、入館者数が目標値を上回りました。また、新たにデジタル式プラネタリウムを導入したほか、耐震補強改修工事の実施設計を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「学校教育の環境整備」については、学校の施設・設備等の老朽化や機能面の低下が顕著となってきたため、長期的な計画に基づいた改修・更新を実施し、延命化やランニングコストの縮減、機能面の向上をはかっていく必要があります。また、新たな学校給食調理場については、基本計画に基づき整備をすすめていく必要があります。</p> <p>(2)「社会教育の環境整備」については、利用者サービスの向上と安全性の確保のため、老朽化した社会教育施設・設備の計画的な整備や展示物等の更新を行っていく必要があります。また、コミュニティセンターや移動バスでの図書の貸出冊数が減少傾向にあることから、蔵書の整備や老朽化した移動図書館バスの更新などを行っていく必要があります。老朽化がすすむ総合体育館については、建て替えに向けた検討をすすめていく必要があります。</p> <p>(3)「保育・体験活動の環境整備」については、保育所や児童保育センター、児童会館において、耐震化をすすめていく必要があります。また、児童会館において、展示品等の更新や事業の充実をはかり、魅力ある施設づくりをすすめていく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
小・中学校校舎の耐震化率（％）	46.5	81.3	100.0
		55.8	
市民1人当たりの図書等の貸出点数（点）	5.4	5.8	7.0
		5.7	
児童会館の入館者数（万人）	10.9 (H17-19平均)	12.3	12.0
		11.3	

※貸出点数は年間の点数

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 学校施設の耐震化

学校施設は、児童生徒にとって一日の大半を過ごす学習・生活の場であるとともに、非常災害時には地域住民の避難場所となるなど地域の防災拠点としても重要な役割を担っており、その安全性の確保はきわめて重要であることから、早急な耐震化が求められています。平成23年度は、豊成小学校の移転改築工事や栄小学校体育館の改築工事を行うとともに、明星小学校、広陽小学校、南町中学校の耐震補強工事を実施したほか、栄小学校校舎の改築実施設計を行いました。



改築した栄小学校体育館

◆ プラネタリウムの整備

児童会館では、平成24年3月に、光学式プラネタリウムの操作卓を更新するとともに、新たにデジタル式プラネタリウムを導入しました。新しいプラネタリウムは、全天周の美しい映像が楽しめ、6.25等星までの約6,200個の恒星と9個の星団を忠実に再現できるほか、季節や天候、時刻に関係なく、世界中の空を映し出すことができます。また、四季の移り変わりに応じた投影番組を放映しており、小さな子どもから大人まで楽しく学習できる内容となっています。



プラネタリウムの投影番組

基本方向4	教育機会の確保
<p>家庭の経済状況や障害の有無などに関わらず、安心して教育を受けることができるよう、教育機会の確保に向けた取組みをすすめます。</p>	

○ 点検及び評価の結果

項目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「就学・進学への支援」については、経済的理由により就学が困難な大学生・専門学校生・高校生等に対して、必要な資金の一部を貸与する奨学資金貸付を行ったほか、幼稚園就園奨励費補助、就学援助、私立高等学校教材教具整備事業、私立高等学校生徒授業料補助などの経済的支援を行い、子どもの教育機会の確保に努めました。</p> <p>(2)「健やかな発達の支援」については、保護者や学校からの特別支援学級の設置要望を踏まえ、知的学級及び自閉症・情緒学級を新設したことにより、設置学級は合わせて61学級となり、目標値を上回りました。また、特別支援教育支援員（助手、補助員、生活介助員）を引き続き配置したほか、特別支援教育就学奨励費、障害者高等教育補助事業等により、特別支援学級や特別支援学校高等部などへ就学・在学している児童生徒の保護者の経済的負担軽減を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「就学・進学への支援」については、長引く景気低迷などにより、就学援助費の支給を受ける児童生徒数の割合は増加傾向にあり、家庭の教育費負担が依然として課題となっていることから、経済的な支援を継続していく必要があります。また、少子化を背景として、市内高校の間口が減少傾向で推移していることから、「帯広市高等学校間口対策協議会」を中心とした情報収集や陳情活動を行うとともに、私立高等学校生徒の保護者に対して引き続き経済的支援を行うなど、市内中学卒業者の進学機会の確保に努めていく必要があります。</p> <p>(2)「健やかな発達の支援」については、増加傾向にあった情緒面に支援を要する児童生徒への対応として、自閉症・情緒学級を必要とする全校に開設したことから、今後は知的学級の開設を計画的にすすめていく必要があります。また、特別な支援を要する児童生徒の学校生活を支えるため、特別支援教育支援員を引き続き配置するとともに、家庭や関係機関等との連携を強化するなど、一人ひとりのニーズに応じた支援を行っていく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
特別支援学級の設置数（学級）	38	61	59
		53	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 特別支援教育の充実

特別支援教育とは、障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを把握し、適切な指導及び必要な支援を行うものです。平成23年度には、新たに自閉症・情緒学級を2校で開設し、必要とする小中学校への設置が完了したほか、開設要望の高い知的学級を3校で開設するなど、特別支援教育の充実に取り組んでいます。また、介助が必要な児童生徒のために28名の生活介助員を配置したほか、発達障がいなどの学習困難を抱える児童生徒のために45名の特別支援教育補助員を配置しました。



肢体不自由学級の授業風景

◆ 高校間口対策の取組み

管内中学校卒業生数が将来的にも減少傾向にあり、市内高等学校の間口数にも影響がでていることから、市内中学校卒業生が市内高等学校へ適正に進学できるよう、高等学校の間口の確保をはかっていく必要があります。帯広市PTA 連合会、帯広市校長会、帯広市、教育委員会等の関係者で構成する帯広市高等学校間口対策協議会では、高等学校の間口確保に向けた活動を行いました。



高校生の登校風景（イメージ）

基本方向5	よりよい教育のためのしくみづくり
地域の実情に応じた、より質の高い、魅力ある教育を推進するため、よりよい教育のためのしくみづくりをすすめます。	

○ 点検及び評価の結果

項 目	内 容
取組みの成果	<p>(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、各学校において、学校の運営状況や教育活動などについて、保護者などの関係者による評価を取り入れた学校評価を行い、評価結果を踏まえた学校改善プランにもとづく取組みを行いました</p> <p>(2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、学校適正配置計画に基づき翔陽中学校を開校したほか、豊成小学校の移転に向けた地域住民や保護者との協議検討をすすめました。また、幼稚園、保育所、小学校、中学校の連携を促進するため、幼保小中連携協議会を設置し、効果的な連携の方策等について協議を行うとともに、教職員向けの講演会の開催やリーフレットを作成したほか、各中学校区で組織的な取組みをすすめるため、2つのモデル地区を設定し、協議の場を設けました。</p> <p>(3)「社会教育施設の利用の促進」については、十勝管内の社会教育施設の利用案内や催事、講演会などの総合的な情報を集約し、市ホームページに公開しました。また、百年記念館、図書館、動物園、児童会館が連携し、共通テーマにもとづくイベントや講座などを行う「社会教育施設連携アクションプログラム」(4館連携事業)を引き続き実施しました。</p> <p>(4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、地域に開かれた教育委員会づくりをすすめるため、市内6か所で教育懇談会を開催し、「学校・地域における特色ある教育活動の促進」をテーマに市民との意見交換を行いました。</p>
課題及び今後の方向性	<p>(1)「魅力ある学校づくりの推進」については、学校評価にもとづく改善の取組みの検証を行っていくとともに、引き続き、保護者や学校評議員などの理解と協力を得ながら、学校評価の向上に努めていく必要があります。</p> <p>(2)「学校教育のしくみの工夫改善」については、幼保小中連携協議会において、効果的な連携の体制づくりや啓発活動を引き続きすすめていくとともに、全ての中学校区に協議の場を設け、各地区の実態に応じた取組みや教職員の交流などをすすめていく必要があります。</p> <p>(3)「社会教育施設の利用の促進」については、震災の影響や休日の天候不順、市民文化ホールの改修工事などにより、社会教育施設の総利用者数と文化施設の利用者数がともに目標値を下回ったことから、市民に対し充実した情報提供をすすめるほか、社会教育施設の連携などにより魅力ある学習機会の提供を行っていく必要があります。</p> <p>(4)「地域の実情に応じた教育行政の推進」については、より開かれた教育委員会づくりをすすめるため、教育懇談会のあり方や実施方法などを検討していくとともに、ホームページなどを活用して教育行政に関する情報提供を充実させていく必要があります。</p>

○ 参考1：成果指標の状況

指 標 名	H19 基準値	H23 実績値	H31 目標値
		H23 目標値	
社会教育施設の総利用者数（万人）	95.2	94.8	95.2
		95.2	
文化施設の利用者数（万人）	54.8	49.2	60.0
		60.0	
スポーツ施設の利用者数（万人）	114.8	136.8	128.6
		128.6	

○ 参考2：主な取組みの内容

◆ 幼保小中の連携

近年、小1プロブレムや中1ギャップといった言葉に表されるように、新しい環境に対応できずにつまずく子どもへの対応が必要となってきていることから、教育委員会では、幼稚園・保育所、小学校、中学校の連携を推進しています。平成22年度に幼保小中連携協議会を設置し、連携の方策などについて検討するとともに、教職員の研修やリーフレットの作成などを行ってきました。平成23年度は、全小中学校区への協議の場の設置をすすめるため、2つのモデル地区を設定し、連携強化に向けた具体的な協議をすすめました。



幼保小中連携講演会

◆ 学校適正配置の取組み

稲田下川西地区では、宅地開発事業により児童数の大幅な増加が見込まれるため、平成18年度に豊成小学校適正配置実施計画を策定し、豊成小学校の移転及び通学区の見直しを行いました。移転にあたり、PTAや地域住民などで構成する豊成小学校移転準備検討委員会を設置し、4年にわたり移転校舎に関することや旧豊成小学校跡地の整備などについて協議をすすめました。新しい豊成小学校は、平成24年4月に供用を開始しました。



新しい豊成小学校の外観
(パース図)

3 教育に関する学識経験者の意見

帯広畜産大学学長 長 澤 秀 行

本報告書について、帯広市教育基本計画の個別目標に沿って設定された各指標が、順調に進行しているという感想を持ちました。教育委員会による、成果指標の状況をもとに実施された点検及び評価の内容は適正であると思います。

個別目標「ふるさとの理解の促進」や、基本方向「教育環境の充実」「教育機会の確保」などについては、それぞれの指標ごとに設定された目標値に対して、平成23年度の実績値がすべて達成されていたり、大幅に上回っています。これらの事項の実施に当たられた関係各位の努力に深く敬意を表します。一方で、「観賞事業の入場者数」「地域の指導者の登録者数」「文化施設の利用者数」など、目標値を下回った事項も散見されますが、この点については、一概に実行手法に問題があるとか、努力が足りなかったということではなく、社会情勢や経済的な要素が多分に影響しており、不可抗力の感も否めません。

「ふるさとの風土に学び、人がきらめき、人がつながる、おびひろの教育」が、平成22年3月に策定された帯広市教育基本計画の基本理念であり、冒頭において、教育委員会の田中厚一委員長が、「言うまでもなく、計画はしょせん、言葉でしかありません。大事なのはこの計画を実行に移すことです。そのためにも、私たちは常にこの計画に立ち戻り、さまざまな施策を検証しなければいけないと思うのです。」と記されています。

この教育基本計画が制定された後の社会情勢の変化、中でも、未曾有の災害である東日本大震災の影響や福島原発事故が与えた被災地の現状を考えた時、あらためて、帯広という地域のすばらしさを再認識させられます。「震災復興あるいは日本再生には、まず、人づくりから」と良く言われますが、大事なことは実行に移すことです。帯広の過去の歴史を学び、絆を大切に、すばらしい教育のまちにすることで、益々、魅力あふれる人々が存在し、豊かな地域が生まれるということを肝に銘じるべきです。

今後も、よりよい教育のためのしくみづくりのために、今回の点検・評価を今後に充分活用し、目標達成に向けて進まれることを期待します。

成果指標の状況を見ますと、実績値が目標値を上回ったのが34指標のうち22指標となっていますが、25指標が前年度実績値を上回り、4指標が同数値で、着実に計画が進行していることが分かります。

「次代を担う人づくり」では、学力について、各学校における学力向上に向けた学校改善プランに基づく取組みなどにより、学力・学習状況調査の全道平均回答率を上回ったと報告されていますが、今後さらに課題となっている基礎基本の定着を中心とした指導の充実、家庭と連携した学習習慣の改善が求められます。豊かな情操につながる読書では、小・中学校図書館の貸出冊数が目標値を上回り、朝読書、図書館ボランティアの活用、図書館との連携などで成果をあげていることが評価できます。今後、蔵書の充実を期待します。このほか、実施校が2校増えた「子どもの居場所づくり事業」、食育の推進策としてPTA連合会との共催による保護者向け啓発リーフレットや食育レシピ集の作成も評価できます。

「ともに学びきずなを育む地域づくり」では、ふるさとの理解の促進について、図書館や百年記念館が多様な事業を提供しましたし、リニューアルした百年記念館のアイヌ民族文化情報センター「リウカ」は、前年度比3倍以上の利用者があり、多くの市民がアイヌ文化にふれることができました。スポーツ振興については、国際全国大会の開催、合宿の誘致によりトップクラスの選手とのふれあい、技術向上の良い機会となっており、継続的な取組みを期待します。

「基本目標を実現するための基盤づくり」では、開かれた学校づくりについては、学校・家庭・地域の連携が重要であり、各学校発行の各種の通信、公開研究会の開催、学校評議員の活用などの取組みが評価できます。家庭や地域による教育支援の推進については、地域全体で学校を支援する学校支援地域本部事業が活発に展開されていますが、ネットワークづくり、人材確保、育成が課題となっており、支援策を期待します。教育を支える人材の育成については、教職員1人当たりの研修受講回数が目標値を上回りましたが、今後とも研修内容、機会の充実を望みます。教育環境の充実については、小・中学校の耐震化工事が4校で実施され、また、教育機会の確保については、自閉症・情緒学級の設置を必要とする小・中学校すべてで完了したのも評価できます。

報告書の作成は5年目となり、点検・評価、進捗状況、課題が理解しやすくまとめられていると思います。

教育の取組みは、行政はもとより学校、家庭、地域など、多くの方々の協力が不可欠です。教育委員会では、広報紙、ホームページ、教育懇談会などで積極的な情報発信に努め、市民との意識共有を進められることを期待します。

参 考 资 料

○ 平成23年度教育委員会の活動状況

(1) 帯広市教育委員名簿

平成24年3月31日現在

役職	氏名	備考
委員長	田中 厚一	平成19年4月1日就任（平成20年12月22日委員長就任）
委員長職務代理者	市之川敦子	平成19年6月23日就任（平成20年12月22日職務代理者就任）
委員	門屋 充郎	平成20年6月23日就任
委員	伊藤 成昭	平成20年12月21日就任
委員（教育長）	八鍬 祐子	平成22年7月7日就任

(2) 教育委員会会議の開催状況（平成23年度）

期日	番号	案件
第9回 平成23年4月1日	選挙執行(1)	帯広市教育委員会委員長の選挙について
第10回 平成23年4月22日	報告7号 報告8号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 その他	新たな料金設定の検討状況について 帯広市市民文芸誌編集委員の委嘱について 職員の人事について 帯広市教育施策推進委員会設置規程の一部改正について 帯広市奨学生選考委員の委嘱について 帯広市社会教育委員の委嘱について (1)帯広市議会3月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第11回 平成23年4月28日	議案第23号 議案第24号 議案第25号	職員の人事について 帯広百年記念館運営審議会委員の解職について 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について
第12回 平成23年5月9日	議案第26号	職員の処分について
第13回 平成23年5月20日	報告第9号 報告第10号 報告第11号 報告第12号 議案第1号 議案第27号 議案第28号 議案第29号 議案第30号 議案第31号 議案第32号 議案第33号 議案第34号 その他	学校施設におけるアスベストの使用について 使用料・手数料改定基本方針について とちぎプラザ運営審議会委員の委嘱について 新たな学校給食調理場基本計画策定について 審査請求について 帯広市立学校管理規則の一部改正について 帯広市教科用図書選定委員会委員の任命及び委嘱について 帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について 帯広市学校給食共同調理場運営委員会委員の任命について 帯広市図書館協議会委員の解任について 帯広市図書館協議会委員の任命について 平成23年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市スポーツ振興審議会委員の任命について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
第14回 平成23年6月10日	報告第13号 報告第14号 議案第1号 議案第35号	小中学校適正配置に関する地区説明会の概要報告について とちぎプラザ運営審議会委員の委嘱について 審査請求について 帯広市手数料条例等の一部を改正する条例制定について
第15回 平成23年6月27日	報告第15号 選挙執行(2) 議案第36号 議案第37号 議案第38号 議案第39号 その他	活力ある学校づくり支援事業の採択結果について 帯広市教育委員会委員長職務代理者の選挙について 教職員の処分について 帯広市文化財審議会委員の委嘱について 帯広市民文化ホール運営審議会委員の委嘱について 帯広百年記念館運営審議会委員の委嘱について (1)帯広市議会6月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第16回 平成23年7月12日	議案第40号	職員の人事について

期日	番号	案件
第17回 平成23年7月25日	報告第16号 報告第17号 議案第1号 議案第41号 議案第42号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 十勝定住自立圏の取り組み状況について 審査請求について 帯広市立学校管理規則の一部改正について 帯広市社会教育委員の委嘱について (1)教員リーダー養成「21世紀教師塾」の取り組みについて (2)四館連携事業について (3)今後の事業予定について (4)寄附受納について
第18回 平成23年8月4日	報告第18号 議案第1号 議案第43号 議案第44号 その他	南商業高等学校用教科用図書の採択について 審査請求について 小学校用教科用図書の採択について 中学校用教科用図書の採択について (1)教科用図書の採択にかかる情報の公表について
第19回 平成23年8月29日	議案第1号 その他	審査請求について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について
第20回 平成23年9月12日	報告第19号 議案第1号 議案第45号 議案第46号 議案第47号 議案第48号 議案第49号 議案第50号 議案第51号 議案第52号 議案第53号 議案第54号 議案第55号 議案第56号 その他	新たな学校給食調理場基本計画（中間まとめ）について 審査請求について 平成22年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について 平成23年度帯広市一般会計補正予算について 帯広市図書館協議会委員の解任について 帯広市図書館協議会委員の任命について 帯広市体育施設条例の一部改正について 帯広市民文化ホール条例の一部改正について 帯広市定住交流センター条例の一部改正について 帯広市生涯学習センター条例の一部改正について 帯広市スポーツ振興審議会条例の一部改正について 帯広市体育指導委員設置規則の一部改正について 帯広市体育施設条例施行規則の一部改正について 帯広市帯広の森研修センター管理規則の一部改正について (1)平成23年度全国学力・学習状況調査問題を活用した北海道における学力等調査について (2)寄附受納について その他・水難事故について
第21回 平成23年9月21日	報告第20号 議案第1号 議案第57号 議案第58号 議案第59号 その他	帯広市市民文芸誌応募結果について 審査請求について 平成23年度帯広市一般会計補正予算について 平成23年度帯広市文化賞及び文化奨励賞の決定について 平成23年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について (1)平成23年度教育懇談会の開催について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第22回 平成23年9月28日	議案第60号	職員の人事について
第23回 平成23年9月30日	議案第61号 議案第62号 議案第63号 議案第64号 議案第65号 議案第66号	帯広市体育施設条例施行規則の一部改正について 帯広市文化ホール条例施行規則の一部改正について 帯広市定住交流センター条例施行規則の一部改正について 帯広市生涯学習センター条例施行規則の一部改正について 帯広市帯広の森研修センター管理規則の一部改正について 教職員の処分内申について
第24回 平成23年10月21日	報告第21号 議案第67号 議案第68号 議案第69号 議案第70号 議案第71号 その他	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 平成24年度帯広市立高等学校の入学者募集について 帯広市スポーツ振興審議会条例施行規則の一部改正について 帯広市スポーツ賞スポーツ奨励賞規則の一部改正について 帯広市民ギャラリー条例施行規則の一部改正について 平成23年度帯広市市民文芸賞及び帯広市市民文芸佳作賞の決定について (1)帯広市議会9月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第25回 平成23年11月2日	議案第72号 その他	平成23年度帯広市一般会計補正予算について (1)寄附受納について
第26回 平成23年11月10日	報告第22号 議案第73号 議案第74号	教職員の処分について 平成23年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価について 新たな学校給食調理場基本計画（案）について

期日	番号	案件
第27回 平成23年11月18日	報告第23号 議案第75号 議案第76号 議案第77号 議案第78号 議案第79号 議案第80号 議案第81号 その他	とまちプラザ運営審議会委員の委嘱について 公の施設の指定管理者の指定について（帯広市民文化ホール） 公の施設の指定管理者の指定について（総合体育館・帯広の森運動施設区） 公の施設の指定管理者の指定について（南町等屋外運動施設） 公の施設の指定管理者の指定について（十勝川河川敷運動施設） 公の施設の指定管理者の指定について（札内川河川敷運動施設） 公の施設の指定管理者の指定について（とまちプラザ） 平成23年度帯広市一般会計補正予算について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について その他・教育懇談会の概要報告について ・ジュニア文芸の応募結果について
第28回 平成23年11月29日	議案第82号	帯広市立高等学校の入学検定料等徴収条例の一部改正について
第29回 平成23年12月15日	議案第83号	帯広市立高等学校の入学検定料等徴収条例の施行規則の一部改正について
第1回 平成24年1月11日	議案第1号 議案第2号 その他	新たな学校給食調理場基本計画について 学校管理職降任願について (1)帯広市議会12月定例会の報告について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第2回 平成24年1月17日	議案第3号	職員の併任について
第3回 平成24年1月24日	その他	(1)平成23年度教育行政視察の実施について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について
第4回 平成24年2月13日	報告第1号 報告第2号 議案第4号 議案第5号 議案第6号 議案第7号 議案第8号 議案第9号 議案第10号 議案第11号 議案第12号 その他	平成24年度帯広市学校教育指導の重点について 平成23年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について 平成23年度帯広市一般会計補正予算について 平成24年度帯広市教育行政執行方針について 平成24年度帯広市一般会計予算について 帯広市立学校設置条例の一部改正について 帯広市教育委員会教育長給与等条例の一部改正について 帯広市職員定数条例の一部改正について 帯広市図書館条例の一部改正について 帯広百年記念館条例の一部改正について 教員の人事内申について (1)今後の事業予定について (2)寄附受納について (3)平成23年度全国学力・学習状況調査を活用した北海道における学力等調査について その他・ジュニア文芸賞贈呈式について
第5回 平成24年3月7日	議案第13号	教職員の処分内申について
第6回 平成24年3月26日	議案第14号	職員の人事について
第7回 平成24年3月27日	議案第15号	職員の人事について
第8回 平成24年3月28日	報告第3号 報告第4号 選挙執行(1) 議案第16号 議案第17号 議案第18号 議案第19号 議案第20号 議案第21号 議案第22号 議案第23号 議案第24号 議案第25号 議案第26号	小中学校の適正規模・適正配置に向けた取り組みについて 財団法人帯広市文化スポーツ振興財団公益法人制度改革への取り組み状況について 帯広市教育委員会委員長の選挙について 帯広市小、中学校通学区域規則の一部改正について 帯広市学校給食共同調理場処務規程の一部改正について 帯広市民文化ホール条例施行規則の一部改正について 帯広百年記念館条例施行規則の一部改正について 帯広市動物園条例施行規則の一部改正について 帯広市体育施設条例施行規則の一部改正について とまちプラザ処務規程の廃止について 職員の人事異動について 帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について 帯広市教育委員会事務専決規則の一部改正について 職員の人事異動について

期日	番号	案件
	その他	(1)平成23年度教育行政視察について (2)今後の事業予定について (3)寄附受納について その他・文部科学大臣表彰について（南商、図書館）

教育委員会会議開催回数 29回
 議決案件 91件 うち非公開 57件
 報告案件 21件 うち非公開 4件
 その他 43件 うち非公開 3件

〔参考〕教育委員会会議の非公開について
 教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③附属機関の委員の任免、④議会の議案に係る意見申出、⑤訴訟、不服申立に係るもの、⑥教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の3分の2以上の多数で、公開しないことができます。（帯広市教育委員会会議規則第16条）

(3) 課題研究協議会開催状況（平成23年度）

回数	開催日時	テ ー マ
1	平成23年5月20日	使用料・手数料改定基本方針について 教科書採択について 学校施設におけるアスベストの使用について 審査請求について
2	平成23年6月10日	帯広市手数料条例等の一部を改正する条例制定について 審査請求について
3	平成23年7月15日	教科用図書採択について
4	平成23年7月25日	指定管理者制度について 審査請求について
5	平成23年8月29日	新たな学校給食調理場基本計画について 教育懇談会について 審査請求について
6	平成23年9月12日	指定管理者制度について
7	平成23年9月21日	指定管理者制度について
8	平成23年10月21日	新たな学校給食調理場基本計画について 教育懇談会について 教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価について
9	平成23年11月10日	新たな学校給食調理場基本計画について
10	平成23年11月18日	指定管理者制度について
11	平成24年1月11日	アイヌ文化名勝「ピリカノカ」指定について 教育委員会会議録の公表について
12	平成24年1月24日	平成24年度教育行政執行方針について
13	平成24年2月13日	小・中学校の適正規模・適正配置の取組みについて 図書館法・博物館法の改正について 総合体育館改築に向けた取組みについて

(4) 研修会参加状況(平成23年度)

日時	場所	研修会等	出席者
平成23年7月7日	札幌市	第48回北海道市町村教育委員研修会	1名
平成23年8月23日・24日	函館市	平成23年度北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会	3名
平成23年11月30日	帯広市	平成23年度十勝管内市町村教育委員研修会	1名
平成24年1月30日～2月1日	長野県松本市	平成23年度教育行政視察	3名

4回 延べ8名参加

(5) 行事等参加状況(平成23年度)

日時	行事名	出席者数
平成23年4月7日	翔陽中学校開校式	5名
平成23年4月8日	市内小学校入学式	3名
平成23年4月11日	帯広南商業高等学校入学式	1名
平成23年4月20日	帯広市体育連盟定期総会	1名
平成23年4月22日	平成23年度帯広市教育研究会結成大会	5名
平成23年5月28日・平成23年5月29日	市内中学校体育祭	21名
平成23年5月28日～平成23年6月5日	市内小学校運動会	20名
平成23年8月31日	平成23年度帯教研教育講演会	3名
平成23年9月15日～平成23年12月15日	市内小中学校公開研究会等	58名
平成23年9月23日	帯広市功労者表彰式	1名
平成23年10月1日～平成23年11月20日	市内小中学校学習発表会・文化祭	5名
平成23年10月10日	平成23年度帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞贈呈式	5名
平成23年10月21日～平成23年11月1日	教育懇談会	17名
平成23年11月3日	平成23年度帯広市文化賞・文化奨励賞贈呈式	5名
平成23年11月14日	ふるさと給食	5名
平成23年11月18日	十勝文化団体協議会創立40周年記念式典	1名
平成24年1月4日	帯広市新年交礼会	4名
平成24年1月8日	帯広市成人の集い	1名
平成24年1月13日	帯広市体育連盟功労賞授賞式	1名
平成24年1月21日	市民文芸賞表彰式	2名
平成24年1月24日	交流給食会	5名
平成24年2月20日	平成23年度帯広市文化活動奨励賞表彰	5名
平成24年2月22日	平成23年度帯広市教育研究実践表彰	5名
平成24年2月26日	ジュニア文芸賞贈呈式	2名
平成24年3月1日	帯広南商業高等学校卒業式	2名
平成24年3月15日	市内中学校卒業式	4名
平成24年3月23日	市内小学校卒業式	1名
平成24年3月30日	教職員辞令交付式	5名

延べ193名

○ 平成23年度教育行政執行方針

1. 基本的な考え方

(1) 教育を取り巻く現状と課題

少子高齢化や高度情報化など、教育を取り巻く社会情勢が大きく変化する中、学力・学習意欲や規範意識、体力・運動能力などに関するさまざまな課題が指摘されています。

これからの教育には、個々の課題に適切に対応するとともに、子どもから高齢者までの人の成長を見すえながら、学校・家庭・地域など、社会を挙げて教育に取り組むことが必要とされています。

① 教育における安全・安心

とりわけ近年、身近な地域における災害や犯罪の発生などに伴い、市民生活の安全・安心の確保が求められており、教育の分野においても、誰もが安心して学ぶことができる環境づくりが課題となっています。

また、特別な支援を必要とする児童生徒が増加する傾向にあることや、厳しい経済情勢などを背景に、教育費に対する家庭の負担感が高まっていることなどから、安心して教育を受けられる機会を確保することがますます重要になっています。

② 地域特性を踏まえた帯広らしい教育

地域の持続的な発展のため、まちづくりに主体的に取り組む担い手が求められる一方、グローバル化がすすむ今日の社会において、ふるさとに誇りや愛着を持ちながら、異なる文化や習慣を持つ人々と共に生きる人づくりがますます重要になっています。

このためには、ふるさとの魅力や課題などについての理解を促していくことが不可欠であり、豊かな自然やアイヌの人たちの文化、開拓の歴史、基幹産業である農業など、恵まれた地域資源を生かした教育をさらに推進していく必要があります。

③ 学校・家庭・地域などの幅広い連携

社会情勢の変化を背景として、子どもの学習習慣や生活習慣、人間関係などに影響が見られる中、学校、家庭、地域がそれぞれの役割を果たすだけでは、子どもを取り巻く課題に適切に対応していくことが難しくなっています。

帯広市においては、学校・家庭・地域などが連携し、子どもを健やかに育むためのボランティア活動などが息長く展開されてきましたが、担い手の固定化や横のつながりの不足などが課題となってきています。このため、改めて、学校・家庭・地域などの幅広い連携をすすめることが必要となっています。

(2) 取組みの方向性

こうした状況を踏まえ、帯広市教育基本計画の基本理念である、「ふるさとの風土に学び 人がきらめき 人がつながる おびひろの教育」を実現していくため、平成23年度においては、「教育における安全・安心の推進」、「地域特性を踏まえた帯広らしい教育の充実」、「学校・家庭・地域などの幅広い連携の推進」の三つを重点として、次のとおり、計画に掲げる基本目標の具体化や、基本目標を実現するための基盤づくりをすすめます。

第一に、「次代を担う人づくり」については、知・徳・体の調和が取れた自立した人づくりや、人間を尊重し自然と共生する人づくりのため、基礎的・基本的な学力のさらなる定着や、保護者・関係機関等と連携した不登校への対応強化、身近な地域におけるスポーツ活動の体制づくりなどをすすめます。また、「フードバレーとがち」なども踏まえながら、食育の充実に取り組むほか、帯広らしい環境教育をすすめます。

第二に、「ともに学びきずなを育む地域づくり」については、学びを通じた協働の地域づくりのため、地域に関する学習活動の充実に取り組むほか、学習成果を活用した自主的活動を支援します。また、まちのにぎわい・交流促進のため、スポーツ大会・合宿の誘致などに引き続き取り組みます。

第三に、「基本目標を実現するための基盤づくり」については、学校・家庭・地域のさらなる連携に向けたしくみづくりや、教員の人間力・指導力の向上、競技者や指導者などスポーツ人材の育成に取り組みます。また、耐震化や老朽施設改修、新たな学校給食調理場整備の推進など教育環境の充実のほか、家庭の経済的負担の軽減や特別支援教育の充実など、教育機会の確保に引き続き取り組みます。さらに、子どもの成長の連続性を踏まえた幼保小中の一層の連携をはじめ、よりよい教育のためのしくみづくりをすすめます。

2. 主な取組み

(1) 次代を担う人づくり

① 知識・技能の習得

子どもの学力・学習意欲を高めるため、小・中学校の教育課程の工夫改善に取り組むとともに、少人数指導研究協議会を設置し、効果的な少人数指導の方法について検討をすす

めます。また、学習習慣の改善などについて情報提供しながら、学校と家庭が連携した取組みを引き続きすすめます。

市民の学習活動については、分かりやすい情報の提供をすすめるほか、コミュニティ講座、生涯学習フェスティバル、高齢者学級など、多様な学習機会の提供に引き続き取り組みます。

職業に関する教育・学習活動については、帯広南商業高等学校において実践的なキャリア教育に取り組むほか、図書館において、ビジネスに役立つ図書や情報提供の充実に取り組みます。

また、児童生徒が学習内容をよりよく理解し、関心・意欲を高めることができるよう、授業におけるコンピュータなどの効果的な活用をすすめるほか、視聴覚教材の充実に取り組みます。

② 豊かな心の育成

児童生徒の心の揺れや悩みにきめ細かく対応するため、心の教室相談員など、生徒指導アドバイザーによる効果的な取組みをすすめるほか、適応指導教室の学習環境の充実に取り組みます。

芸術・文化活動については、日頃の活動成果を発表する機会として、市民芸術祭などを開催するとともに、市民オペラ公演の開催を支援します。また、関係機関等と連携し、伝統芸能や子ども向けの演奏会などの優れた鑑賞機会を提供します。

また、子どもの読書活動については、学校図書館の蔵書整備や学校と市立図書館との連携をすすめるほか、家庭における読書活動の促進に引き続き取り組みます。

③ 健やかな体づくり

地域住民が運営する「総合型地域スポーツクラブ」について、体育指導委員や関係団体と連携した事業の実施を促進するほか、南地区での新規設立を支援し、スポーツに親しむ機会を拡大します。

また、健康な生活について理解と実践を促進するため、健康に関する講座や、図書館における関連図書の充実など、健康に関する学習機会を提供します。

このほか、引き続き、本市の子どもの体力や運動能力について把握し、学校における体力向上の取組みなどに生かすほか、家庭や地域への啓発をすすめます。

食育の取組みについては、栄養士による学校訪問指導や食に関する指導資料の活用、啓発リーフレットの配布など、学校における指導の充実に取り組むとともに、体験的学習や

地域の人材等を活用した特色ある取組みを促進します。また、図書館においては、食育や食文化に関する図書や情報提供の充実に取り組みます。

さらに、地場産食材の活用やふるさと給食の充実などをすすめながら、引き続き、安全安心で栄養バランスのとれた学校給食を提供します。

④ 人間を尊重し自然と共生する人づくり

関係部課等と連携し、さまざまな機会を通じて、人権や福祉、男女共同参画に関する教育・学習活動を推進します。

また、小学校外国語活動や、国際理解教育を効果的に推進するため、小・中学校において、外国人との交流などの充実に取り組みます。

さらに、良好な環境のためにすすんで実践する人づくりを目指して、関係部課と連携し、学校が行う環境教育などを支援するほか、社会教育施設が連携し、環境に関する学習機会を提供します。また、関係部課等による推進プロジェクトにおいて、帯広らしい環境教育の取組みや情報提供の充実などについて検討をすすめます。

(2) とともに学びきずなを育む地域づくり

① ふるさとの理解の促進

小・中学校において、副読本の活用や郷土体験・自然体験等を通じて、ふるさとの自然や産業などに関する学習の充実に取り組みます。

また、帯広・十勝の自然や歴史などについて、市民大学講座や、百年記念館における博物館講座、企画展などを開催するほか、「フードバレーとかち」に関する情報提供や講座の開催をすすめます。

埋蔵文化財センターにおいては、発掘調査の記録写真や埋蔵文化財の分布図等を活用し、地域の歴史について市民に分かりやすく情報発信します。

② きずなづくり・まちづくり

学習成果を生かした市民の自主的活動を促進するため、関係機関と連携して、まちづくりに関する体験的な学習活動をすすめるとともに、社会教育施設におけるボランティアの養成・活用に引き続き取り組みます。

また、スポーツを通じたにぎわいや交流を促進するため、世界ジュニアスピードスケート選手権大会をはじめ、国内外の大会誘致などをすすめます。

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

① 学校・家庭・地域の連携

学校評議員制度の活用などにより、保護者や地域住民との協力による学校運営の改善に引き続き取り組みます。

また、家庭教育を支援するため、望ましい学習習慣・生活習慣について家庭への情報提供をすすめるほか、社会教育施設において、親子がふれあう多様な機会を引き続き提供します。

さらに、家庭や地域による教育支援を一層推進するため、「学校支援地域本部事業」を拡充するとともに、関係部課等による推進プロジェクトにおいて、学校・家庭・地域の連携の担い手の拡充や、団体等の横のつながりの強化などについて検討をすすめます。

② 教育を支える人材の育成

教員の自発的な研究の支援や研修成果の公開、教員ミドルリーダーの育成に引き続き取り組みほか、教員研修のさらなる受講を促進し、教員の人間力・指導力向上に取り組みます。

また、地域の人材の発掘・活用をはかるため、ホームページを通じて、学習指導者や団体・サークルなどについてより分かりやすい情報提供をすすめます。

さらに、スピードスケートの底辺拡大と競技者育成をはかる「ほっとドリームプロジェクト」において、幼児期からの一貫した指導体制づくりや、地域の人材を発掘し、指導者として養成する取組みをすすめます。

③ 教育環境の充実

学校施設の耐震化をはかるため、明星小学校校舎の改修や栄小学校屋内運動場の改築、広陽小学校校舎及び南町中学校校舎の耐震補強工事を行うとともに、栄小学校校舎の改築に向けた調査設計を行います。また、翔陽中学校のグラウンド造成工事や豊成小学校の移転改築工事を実施するほか、統合プールとして、啓西小学校プールの調査設計を行います。

新たな学校給食調理場の整備については、基本構想に基づき、施設機能や学校給食を通じた食育、地産地消の取組みなどを示す基本計画を策定します。

児童生徒の総合的な安全対策については、登下校の見守り活動への支援や、学校における交通安全教室、避難訓練などに引き続き取り組みます。

図書館においては、蔵書の充実をはかるとともに、休館日の在り方などを含め、サービス向上について引き続き検討をすすめます。

また、文化ホールにおいて舞台機構の改修を行うほか、百年記念館、とかちプラザ、動物園において、引き続き、施設の安全性の確保や魅力の向上に取り組みます。

さらに、安全・安心なスポーツ環境づくりのため、パークゴルフ場のユニバーサルデザイン化をはじめ、体育施設の改修等を行うとともに、総合体育館の改築に向けた検討をすすめます。

④ 教育機会の確保

家庭の経済的負担を軽減するため、私立高等学校授業料補助や就学援助を継続するほか、高等学校の間口の確保に向けて、関係団体などと連携した要請活動などに引き続き取り組みます。

また、子どもたちの健やかな発達を支援するため、特別支援学級を拡充するとともに、支援員を引き続き配置します。

⑤ よりよい教育のためのしくみづくり

学校評価の実施やその結果及び改善方策についての情報提供をすすめるとともに、「活力ある学校づくり支援事業」など、創意工夫を生かした学校づくりに引き続き取り組みます。

また、幼保小中連携協議会において、子どもの発達段階に応じた適切な指導の充実などについて検討をすすめます。

平成23年4月に翔陽中学校を開校するとともに、豊成小学校の移転に向けた地域協議をすすめます。また、小中学校適正配置計画に基づき、児童・生徒数の推移や国の動向を見定めつつ、適正な学校規模の維持や良好な教育環境の確保をはかります。

図書館、百年記念館、動物園、児童会館においては、「四館連携事業」として、共通テーマに基づく学習機会の提供や情報発信などに連携して取り組み、施設の利用促進をはかります。

また、教育に関する市民の理解や関心を高めるとともに、意見等を今後の教育行政の参考にするため、引き続き教育懇談会を開催します。

○ 平成23年度予算決算

(単位：円)

科 目	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
教育費	9,592,272,000	7,873,921,419	1,497,652,890	
教育総務費	208,207,000	203,395,801	0	
教育委員会費	5,549,000	5,455,866	0	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	96,493,000	94,601,862	0	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業等
指導研修費	79,690,000	77,416,360	0	教育相談員・生徒指導専門指導員・外国人講師に係る報酬等
教育研究所費	21,220,000	20,942,902	0	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	5,255,000	4,978,811	0	教職員住宅の修理費等
小学校費	5,118,972,000	3,832,084,624	1,160,087,000	
学校管理費	636,678,000	628,408,791	0	小学校管理費、プール・リノ造成・維持管理費、学校保健事業費、スクール入運行事業費等
学校営繕費	45,902,842	45,883,866	0	学校営繕費
教育振興費	274,501,000	263,281,231	0	教材教具購入費、就学援助費、学校図書整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	526,647,158	409,051,361	91,405,000	学校備品・設備整備費、リノ改修事業費、耐震化事業費等
学校建設費	3,635,243,000	2,485,459,375	1,068,682,000	校舎・屋体整備費（豊成小移転改築、栄小体育館改築等）
中学校費	1,108,238,000	734,355,945	333,805,000	
学校管理費	261,222,435	257,216,920	0	中学校管理費、リノ造成・維持管理費、学校保健事業費、スクール入運行事業費等
学校営繕費	25,206,000	25,120,167	0	学校営繕費
教育振興費	207,206,930	206,650,290	0	教材教具購入費、就学援助費、学校図書整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	614,602,635	245,368,568	333,805,000	学校備品・設備整備費、リノ改修事業費、耐震化事業費等
高等学校費	87,440,000	82,598,814	0	
学校管理費	56,499,000	52,063,655	0	南商管理費、学校保健事業費、外国人英語指導助手報酬等
学校営繕費	6,371,000	6,363,908	0	南商営繕費
教育振興費	24,570,000	24,171,251	0	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費等

科 目	最終予算額	決算額	翌年度繰越額	主な内容
社会教育費	906,144,000	879,949,259	0	
社会教育総務費	17,406,000	16,705,327	0	生涯学習指導員、社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	22,246,000	19,507,497	0	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とちぎプラザ費	230,177,000	222,722,541	0	とちぎプラザ管理費
市民文化ホール費	236,707,000	236,234,464	0	市民文化ホール管理運営費、機器類リース料等
百年記念館費	70,445,000	68,607,650	0	百年記念館管理運営費、学芸研究員等報酬、講座開催経費等
図書館費	175,245,000	170,106,452	0	図書館管理運営費、図書資料等整備費、郷土資料関連経費等
動物園費	125,726,000	119,188,248	0	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕・改修費等
市民ギャラリー費	28,192,000	26,877,080	0	市民ギャラリー管理費
保健体育費	2,163,271,000	2,141,536,976	3,760,890	
保健体育総務費	83,339,000	80,679,853	0	スポーツ行事・活動関係経費、団体育成・大会開催費、学校開放経費、指導者養成経費等
体育施設費	1,105,551,500	1,100,029,784		社会体育施設管理運営費、施設修繕・改修費等
学校給食共同調理場費	974,380,500	960,827,339	3,760,890	学校給食共同調理場管理費、賄材料費、委託料等

※翌年度繰越額は、継続費及び繰越明許費

○ 平成23年度における主な取組み一覧

(1) 次代を担う人づくり

① 知識・技能の習得

展開方策	主な取組み
子どもの学力・学習意欲を高める教育の推進	活力ある学校づくり支援事業（豊かな学び支援 28 校、環境教育支援 12 校、食育 12 校）、外国人講師派遣（小中学校）、少人数指導推進協議会の設置、ドリル型データベース教材（中学数学）開発、外国人英語指導助手配置（南商）、家庭学習の啓発、学校改善プランの取組み推進、子ども向け講座等（図書館、百年記念館、動物園、児童会館等）
個人や社会のニーズに応じた学習活動の推進	プラザエンジョイスクール（2,070 人）、放送大学帯広学習室（214 科目）、生涯学習フェスティバル（65 事業）、高齢者学級（96 人）、コミュニティ講座（223 講座、17,720 人）、百年記念館講座・講演会（1,052 人）、地域防災訓練（大空小、600 人）、冬季防災訓練（啓北小、230 人）、防災セミナーin とかち 2011（241 人）、防災グッズ展（750 人）、「わが家の防災チェック」全戸配布、学校での非難訓練（全小中学校）、防災リーダー研修会（131 人）、自主防災組織研修会講師派遣（13 団体）、応急手当講習（7,494 人）、高校生を対象とした普通救命講習（3 校、264 人）、自主防火組織・事業所等に対する防火活動（83,844 人）、幼年消防クラブ育成（39 クラブ、3,091 人）、市民防災フェスティバル（約 3,800 人）、防犯グッズ展、防犯講話（31 回、788 人）、交通安全教室（352 件、36,013 人）、消費者講座・講演会（7 回、286 人）、地域消費者講座（10 回、1,926 人）、消費者被害予防教育講座（7 校、15 回、1,375 人）、みんなの消費生活展（1,352 人）
職業に関する教育・学習活動の推進	南商インターンシップ事業（40 事業者）
高度情報化に対応した教育・学習活動の推進	校内LANの活用、教育用パソコン（1,670 台）の活用、大型デジタルテレビ（114 台）の活用、帯広市ネット非行対策連絡会議開催、ネット非行防止啓発リーフレット作成

② 豊かな心の育成

展開方策	主な取組み
子どもの社会性の育成	郷土体験学習（小学 4 年生対象）、自然体験学習（中学 2 年生対象）、適応指導教室の運営、生徒指導専門員・教育相談員の配置、いじめ・不

	<p>登校・非行等に関する対策委員会の設置、心の教室相談員（7人）・家庭訪問相談員（5人）・スクールソーシャルワーカー（2人）の配置、教育相談センター運営、南商におけるボランティア活動の推進（34クラブ）、放課後子ども教室・広場（17校、延べ17,629人）、土曜あそびの森の実施（11校、延べ2,692人）、中学生からのメッセージ事業、成人の集い（1,288人）、地域子ども会リーダー宿泊研修会（247人）、ジュニアリーダー養成講座（31人）、ジュニアリーダー「あるふあの会」（11人）、子ども王国の開催（700人）、十勝こども雪合戦（62チーム、361人）、児童会館での体験活動（文化関連事業12,807人、宿泊学習等4,454人）、青少年センター事業（巡回指導、声かけ指導、ヤングテレホン相談等）、子ども相互派遣事業（徳島市7人、松崎町7人、大分市7人）</p>
展開方策	主な取組み
豊かな情操の育成と生きがいづくり	<p>学校図書館活性化支援事業（小26校、中14校）、学校図書館土曜開放事業（小5校）、学校図書購入（小9,040冊、中10,007冊）、図書館・学校連携事業（ぶっくーる便279件、ビックナウマン便3件、学校図書館クリニック1回）、年齢別おすすめ絵本セットの貸出し（604件）、おはなし会（2,771人）、映画会（1,138人）、子ども図書館のつどい（170人）、おびひろ市民芸術祭（8,990人）、市民オペラ「トゥーランドット」（2,209人）、新人演奏会（244人）、ふるさと公演（646人）、十勝ポスターアワード（855人）、帯広市文化賞文化奨励賞、市民文藝（第51号）・ジュニア文芸（第2号）発行、劇団四季鑑賞事業（1,509人）、小笠原一規とPMFフレンズ「ラ・ボエーム」（328人）、劇団千年王國「イザナギとイザナミ～古事記一幕」（283人）、武蔵野音楽大学管弦楽団帯広演奏会（786人）、小中学生のための札幌コンサート（2,363人）、小山実稚恵ピアノリサイタル（565人）、松竹花形歌舞伎（1,238人）、親と子のわくわく音楽会（457人）、ワルシャワ国立フィルハーモニー管弦楽団 with 中村絃子 & 千住真理子（1,393人）、アップビートとかち音楽祭2012（170人）、幼児向けプチコンサート（82人）、完全復元伊能図全国巡回フロア展 in 帯広（7,617人）、帯広美術館特別企画展「巨匠たちの饗宴—日本近代絵画」（9,843人）</p>

③ 健やかな体づくり

展開方策	主な取組み
健やかな体を育むスポーツ活動等の推進	<p>スポーツ教室・講習会（84回）、総合型地域スポーツクラブの育成・支援（3団体）、帯広市スポーツ推進委員の活動（113回、参加者4,087人）、帯広市スポーツフェスティバル（2,844人）、冬季スポーツ事業</p>

	(721人)、マイスポーツマイライフ(314人)、市民ゴルゲート大会(28人)、ゴルゲート練習会(286人)、十勝大平原クロスカントリー大会(544人)、スポーツ少年団活動支援、出前健康講座(2,655人)、健康づくり講座(725人)、糖尿病予防講座(199人)、ひろびろ元気教室(64回、延べ584人)、いきいき温泉事業(135回、延べ2,626人)、認知症サポーター養成講座(1,240人)
食育の推進と学校給食の充実	ふるさと給食(5日)、食育レシピ集の作成(小中学校保護者用)、食育講演会(1回)、農業技術センター展示ほ場見学受入(15校、982人)、酪農教育ファームでの自然体験学習(7校、195人)、帯広っ子農業体験学校(16組36人)、帯広の森サラダ館学童農園(20団体、2,068人)、大平原交流センター農業体験事業(7組15人)、親子料理教室(20組)、パパの料理教室(14組)、食育フェスティバル(1回)、食事バランスガイドの普及・啓発、保育所での食育ミニ講座(177人)、保育所給食試食会(701人)、保育所での親子料理教室(2回、15組)、こどもクッキング(30回)、食育おもちゃの作成(保育所)

④ 人間を尊重し自然と共生する人づくり

展開方策	主な取組み
人権・福祉・男女共同参画に関する教育・学習活動の推進	高齢者虐待防止研修会(110人)、児童虐待防止推進月間パネル展、児童虐待防止DVD上映会、児童虐待防止啓発用リーフレット(30,000枚)・児童携帯用カード(15,000枚)作成、ノーマライゼーション推進地区(4地区)、手話講習会(36回、418人)、手話ステップアップ講座(40回、1,018人)、要約筆記講習会(8回、185人)、点字講習会(9回、45人)、男女共同参画セミナー(1回、1,278人)、女と男の一行詩作品募集・展示(691作品、399人)、男女共同参画情報誌の発行(2回、各3,000部)、男女共同参画講座(4回、139人)、社会参画支援講座(2回、69人)、デートDV予防講座(3回、658人)、UD講座(5回、321人)
グローバル化に対応した教育・学習活動の推進	南商での外国人英語指導助手配置(1人)、外国人講師派遣(小中学校)、国際理解・国際交流事業(17事業、65回、8,968人)、高校生相互派遣事業(スワード市4人)
環境に関する教育・学習活動の推進	児童会館科学展示室入場者(22,793人)、プラネタリウム入場者(9,602人)、児童会館での科学実験教室・公開講座等(138回、5,212人)、出前環境教室(34回、1,635人)、環境にやさしい活動実践校新規認定校(3校)、ごみ懇談会(10回、311人)、エコエコ紙芝居(10回、276人)、環境学習支援事業(9校、613人)、「帯広の森・はぐくむ」での観察会・森づくり体験・木工体験など(52回、1,724人)、動物園における総合学習受入(96日、1,145人)、おやこ de Zoo

	(2回、42人)、1日飼育係(15回、77人)、動物園裏側探検隊(3回、96人)、動物園スポットガイド(随時)、動物園ふれあい団体授業(83組、2,995人)、よるの動物園(6,616人)
--	--

(2) ともに学びきずなを育む地域づくり

① ふるさとの理解の促進

展開方策	主な取組み
子どものふるさと教育の推進	郷土体験学習(小学4年生対象)、自然体験学習(中学2年生対象)、社会科副読本の活用、社会科副読本活用ビデオ教材作成、アイヌ民族文化理解促進指導用教材作成
地域に関する学習活動の推進	地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、市民大学講座(3,425人)、第30回郷土美術展(2,845人)、企画展「とかちの化石」(3,750人)、十勝美術作家史の作成、郷土学習見学会(2回)、百年記念館埋蔵文化財センターの活用、発掘調査デジタル化、帯広叢書の刊行(第64巻)、図書館ふるさと再訪(88人)

② きずなづくり・まちづくり

展開方策	主な取組み
まちづくりへの参画を促進する教育・学習活動の推進	中学生からのメッセージ事業、成人の集い(1,288人)、地域子ども会リーダー宿泊研修(247人)、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」(年12回、31人)、ジュニアリーダー「あるふあの会」(11人)、南商におけるボランティア活動の推進(34クラブ)、生涯学習コーディネーターの支援、語り手育成講習会、製本講座、初歩から始める郷土資料の読み解き講座、展示解説ボランティアの活動支援
にぎわいや交流を促進する文化・スポーツの振興	おびひろ市民芸術祭(8,990人)、スポーツ全道・全国大会開催運営補助(38件)、日韓スポーツ交流事業(3種目)、スポーツ合宿誘致(215団体)、世界ジュニアスピードスケート選手権大会、ジュニアワールドカップスピードスケート競技会、プロ野球公式戦、北海道十勝オープンテニストーナメント、バスケットボール日本リーグ

(3) 基本目標を実現するための基盤づくり

① 学校・家庭・地域の連携

展開方策	主な取組み
開かれた学校づくり	公開研究会実施校(17校)、地域公開参観実施校(8校)、学校図書館土曜開放事業(小5校)、地域開放学校数(28校)、学校評議員設置(全小中学校)、新任学校評議員研修会、学校評議員だよりの発行(3回)、土曜あそびの森の実施(11校、2,692人)、南商学校開放講座等(30人)、南商生による近隣小中学校での英語授業(4回)
家庭教育への支援	地域子育て支援センターの運営(6か所)、子育てメール通信登録(1,217件)、子育て応援ボランティア(14団体、96人)、子育てガイドブックの発行(2,000部)、あそびの広場(198回、3,025人)、サンデーパパ(24回、延べ871人)、こんにちは赤ちゃん訪問(641人)、小中高生の保育体験(公立保育所10か所、103回、645人)、世代間交流(公立保育所10か所、63回、534人)、家庭教育学級(12学級、210人)、絵本との出会い事業(配付児童数1,409人)、子育て応援事業所登録制度(162事業所)
家庭や地域による教育支援の推進	学校支援地域本部設置(13本部、29校)、学校支援ボランティア地域コーディネーター交流会(1回)、子どもの見守り活動実施校(40校)、子ども110番の家設置(1,241件)、放課後子ども教室・広場(17校、延べ17,629人)、土曜あそびの森の実施(11校、延べ2,692人)

② 教育を支える人材の育成

展開方策	主な取組み
教員の人間力・指導力の向上	教員リーダー養成「21世紀教師塾」(延べ104人)、個人研究サポート(4人)、体験研究サポート(6人)、地域教材研究サポート(4人)、パソコン研修講座(20回、566人)、研究紀要「帯広の子どもたちの学力」発行、中央教育課題思潮等調査研究事業、全道教科担当指導主事研究協議会・いじめなど対策本部全道会議参加、帯広市特別支援教育研究大会紀要発行、教育課程検討委員会開催、帯広市教育研究会事業補助、教育研究実践表彰・学校文化活動奨励賞授賞、公開研究会実践校への補助、小中学校情報教育専門員派遣(各校2回)、幼稚園教諭・保育所保育士合同研修(1回)、保育士研修会(3回)、保育士向けゼミ(3回)、保育実践交流会(1回)
地域人材の発掘・育成・活用	ふるさと公演、新人演奏会、帯広市文化賞文化奨励賞(2個人)、スポーツ指導者の講習会・研修会(4回)、競技力育成選手強化事業(20

	団体)、少年団指導者認定講習会(2回)、スポーツ大会派遣支援(159件、725人)、ほっとドリームプロジェクト(競技者の育成事業5回、底辺拡大事業4回)、帯広市体育連盟活動支援
--	--

③ 教育環境の充実

展開方策	主な取組み
学校教育の環境整備	AED全小中学校設置(継続)、小学校校舎耐震化(3校)、小学校体育館耐震化(2校)、中学校校舎耐震化(1校)、学校プール建設(1校)、学校プール建設調査設計(1校)、学校校舎石綿除去(3校)、グラウンド整備(2校)、学校リニューアル改修事業(7校)、新たな学校給食調理場基本計画策定、子ども安全ネットワークの運用
社会教育の環境整備	とちちプラザアトリウム屋上防水補修工事、百年記念館多目的トイレ改修、市民文化ホール大ホール舞台装置改修、市民文化ホール大小ホール音響調整卓・ITV設備等改修、オオサンショウウオ液浸標本制作、ヒツジ放飼場小屋改修、キリン舎放飼場・新サル舎植栽、動物園における帯広畜産大学との連携、図書館蔵書の充実(465,487冊)、移動図書館バスの運行、札内川ソフトボール場両翼拡張工事、帯広の森パークゴルフ場林間コースのUD化・ティー台修繕、帯広の森アイスアリーナ冷凍機修繕、帯広の森屋内スピードスケート場製氷車導入、帯広の森市民プール可動床装置部品・消防設備修繕、十勝川親水パークゴルフ場多目的広場園路修繕
保育・体験活動の環境整備	豊成保育所移転改築、公立保育所耐震診断(6か所、うち耐震補強実施設計5か所)、豊成児童保育センター移転改築、児童保育センター分室設置(2か所)、栄児童保育センター移転改築実施設計、児童会館耐震補強実施設計、児童会館プラネタリウム操作卓改修・デジタル投影機導入、プラネタリウム室天井石綿除去

④ 教育機会の確保

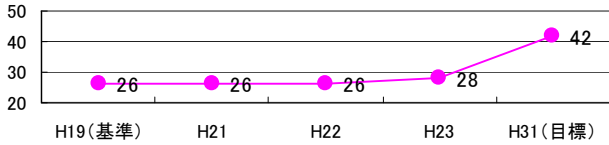
展開方策	主な取組み
就学・進学への支援	就学援助支給(小2,160人、中1,312人)、私立高等学校生徒授業料補助(222人)、奨学資金貸付(80人)、幼稚園就園奨励費支給(1,676人)、私立幼稚園教育振興費補助(15園)、帯広市高等学校間口対策協議会開催(1回)
健やかな発達の支援	就学相談・指導(241件)、特別支援教育補助員配置(45名)、生活介助員配置(28人)、特別支援学級開設(自閉症・情緒学級2校、知的学級3校)、障害者高等教育補助(90人)、障害児保育(26所)、幼児ことばの教室(119人)、発達支援センター(228人)、肢体不自由機能訓練事業(24組)

⑤ よりよい教育のためのしくみづくり

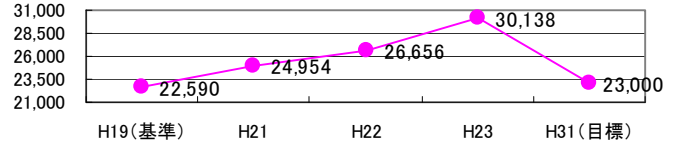
展開方策	主な取組み
魅力ある学校づくりの推進	特色ある学校づくり（全小中学校）、小規模特認校制度（2校）
学校教育のしくみの工夫改善	幼保小中連携協議会の開催（2回）、幼保小中連携講演会（約140人）、幼保小中連携啓発リーフレットの作成、幼保小連携の実施（5園）、翔陽中学校開校、豊成小学校移転準備検討委員会の開催（4回）
社会教育施設の利用の促進	社会教育施設連携アクションプログラム（4館連携事業）の実施、学習情報の提供（動物園飼育員ブログ等）、スポーツ活動に関するホームページでの情報提供（4項目）
地域の実情に応じた教育行政の推進	教育懇談会（6か所、130人）

○ 成果指標の推移

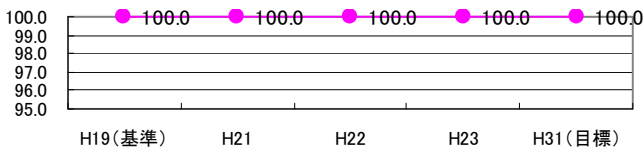
① 個別目標 1-1 : 知識・技能の習得



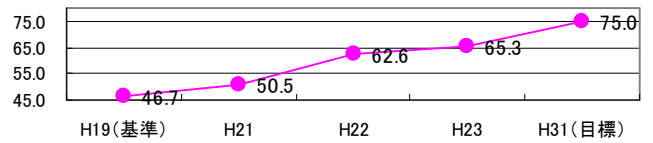
参考図1. 標準学力検査の目標基準到達観点数 (観点)



参考図2. 帯広市教育委員会が開催する講座等の参加者数 (人)

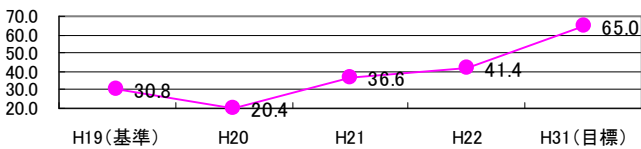


参考図3. 帯広南商業高等学校の就職率 (%)

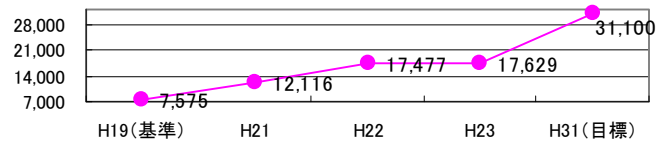


参考図4. 帯広南商業高等学校における検定の3種目以上1級取得率 (%)

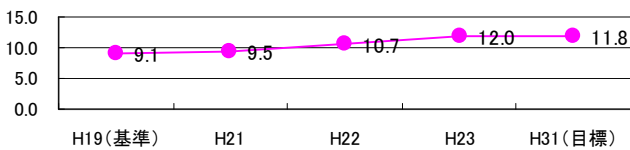
② 個別目標 1-2 : 豊かな心の育成



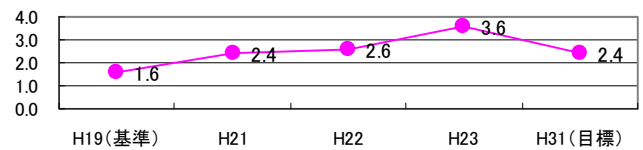
参考図5. 不登校生徒の復帰率 (%)



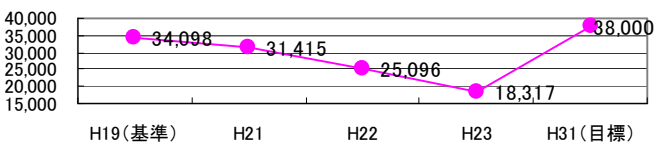
参考図6. 子どもの居場所づくり参加児童数 (人)



参考図7. 小学校図書館の児童1人当り貸出冊数 (冊)

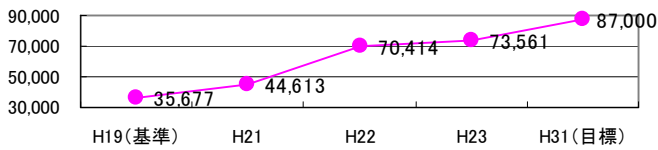


参考図8. 中学校図書館の生徒1人当り貸出冊数 (冊)

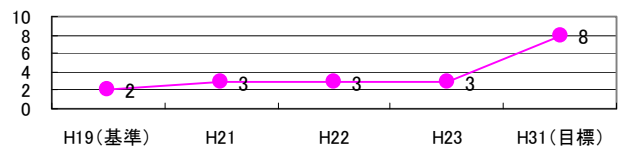


参考図9. 鑑賞事業の入場者数 (人)

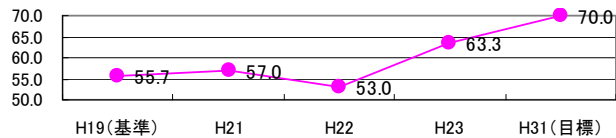
③ 個別目標 1-3 : 健やかな体づくり



参考図 10. スポーツ大会、スポーツ教室・講習会の参加者数 (人)

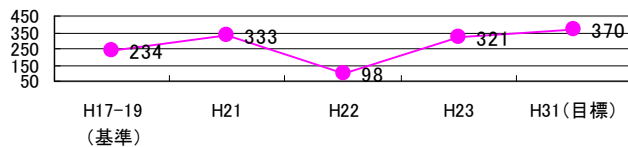


参考図 11. 総合型地域スポーツクラブ設置数 (か所)

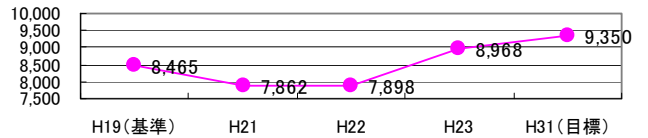


参考図 12. 学校給食における地場産野菜の導入率 (%)

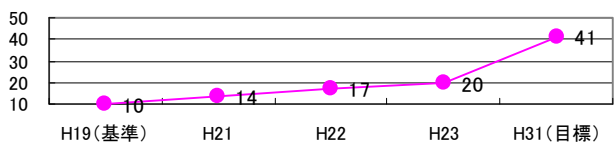
④ 個別目標 1-4 : 人間を尊重し自然と共生する人づくり



参考図 13. UDに関する講座等への参加者数 (人)

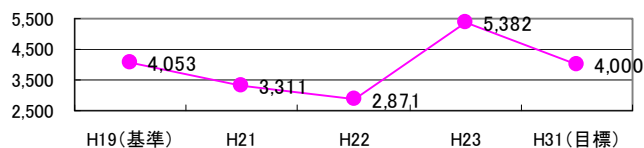


参考図 14. 国際理解推進事業・国際交流事業の参加者数 (人)



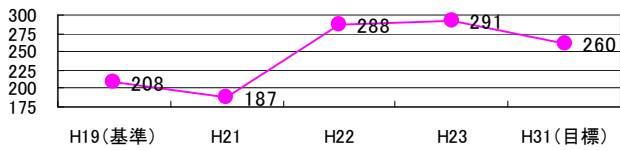
参考図 15. 環境にやさしい活動実践校数 (校)

⑤ 個別目標 2-1 : ふるさとの理解の促進

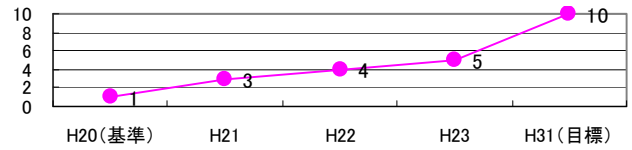


参考図 16. 地域について学ぶ講座等への参加者数 (人)

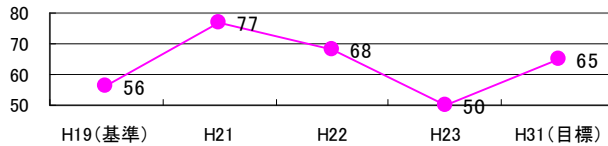
⑥ 個別目標2-2：きずなづくり・まちづくり



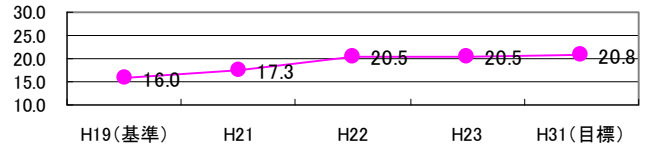
参考図17. 青少年リーダー養成事業参加者数 (人)



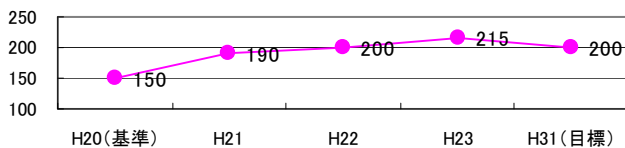
参考図18. 学習成果の活用事例数 (件)



参考図19. 発表・活動の場への参加団体数 (団体)

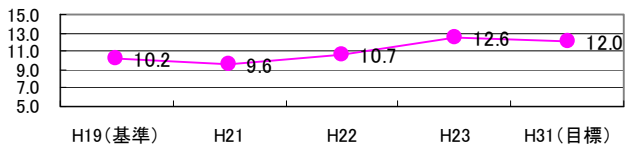


参考図20. 各種スポーツ大会の観客数 (万人)

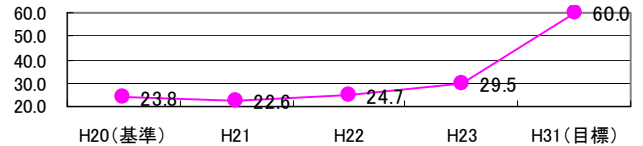


参考図21. スポーツ合宿団体数 (団体)

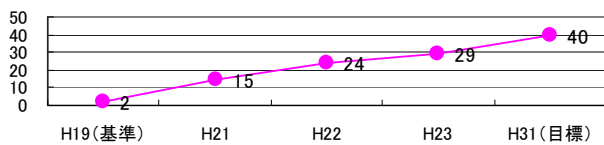
⑦ 基本方向1：学校・家庭・地域の連携



参考図22. 子ども1人当たりの子育て支援センター等の利用回数 (回)

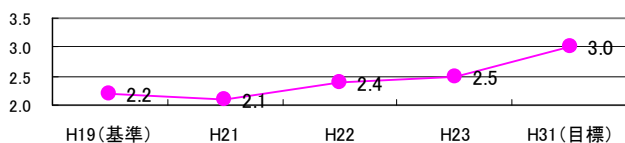


参考図23. 子育てメール通信の利用率 (%)

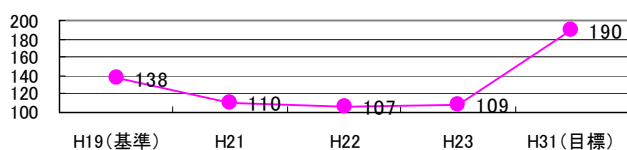


参考図24. 学校支援ボランティアを活用した学校数 (校)

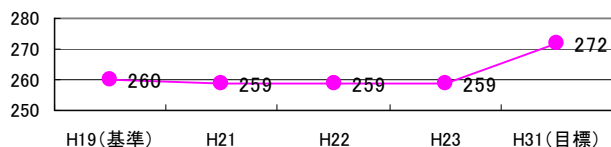
⑧ 基本方向2：教育を支える人材の育成



参考図25. 教職員1人当たりの研修受講回数 (回)

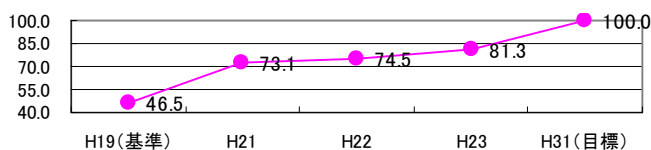


参考図26. 地域の指導者の登録者数 (人)

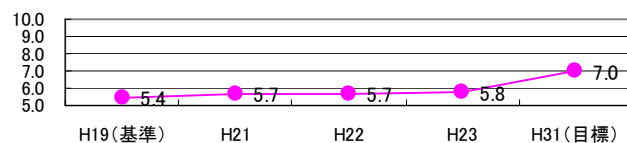


参考図27. ホームページで芸術・文化活動を
紹介する文化団体数 (団体)

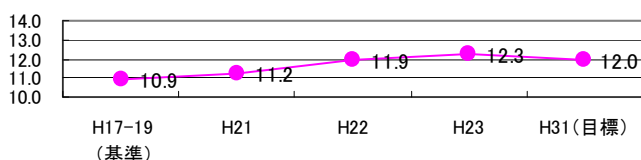
⑨ 基本方向3：教育環境の充実



参考図28. 小・中学校校舎の耐震化率 (%)

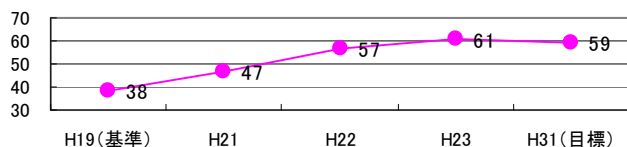


参考図29. 市民1人当たりの図書等の貸出点数
(点)



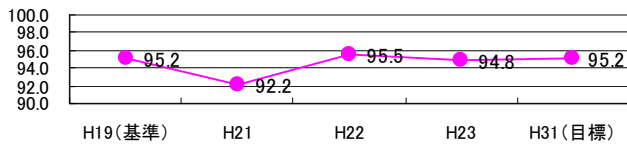
参考図30. 児童会館の入館者数 (万人)

⑩ 基本方向4：教育機会の確保

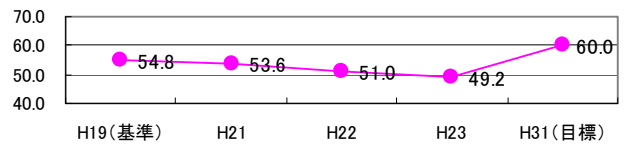


参考図31. 特別支援学級の設置数 (学級)

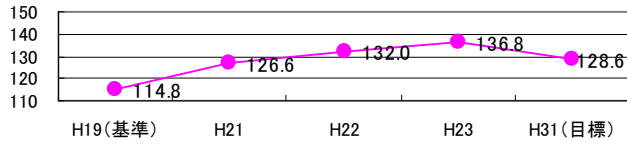
⑪ 基本方向5：よりよい教育のためのしくみづくり



参考図32. 社会教育施設の総利用者数 (万人)



参考図33. 文化施設の利用者数 (万人)



参考図34. スポーツ施設の利用者数 (万人)